

福井大学保健管理センター一年報

第37号
(平成28年度)

福井大学保健管理センター

2017. 11

目 次

I 学生健康管理状況

1. 実施要領	1
2. 平成28年度定期健康診断の成績	2
(1) 受検状況の成績	2
ア. 文京キャンパス	2
第1表 身長、体重の受検率と肥満、痩せの割合	2
第2表 血圧測定 of 受検率と高血圧の割合	3
第3表 尿検査の受検率、異常者数と異常者の割合	4
第4表 健康調査の受検率、内科検診を必要と判断した者の人数と割合	5
第5表 胸部X線検査の受検率、異常所見を有する者の人数と割合	6
第6表 血液検査の受検率、異常者数と異常者の割合	7
イ. 松岡キャンパス	8
第7表 身長、体重の受検率と肥満、痩せの割合	8
第8表 血圧測定 of 受検率と高血圧の割合	9
第9表 尿検査の受検率、異常者数と異常者の割合	10
第10表 視力測定 of 受検率	11
第11表 胸部X線検査の受検率、異常所見を有する者の人数と割合	12
第12表 血液検査の受検率、異常者数と異常者の割合	13
(2) 一次検診の成績	14
ア. 文京キャンパス	14
第13表 身長、体重、BMIの平均値及び標準偏差(性、学年別)	14
第14表 痩せと肥満の割合(性、学年別)	15
第15表 血圧の状況(性、学年別)	16
第16表 尿検査の状況(性、学年別)	17
第17表 内科検診の状況(性、学年別)	18
第18表 胸部X線検査の状況(性、学年別)	19
第19表 血液検査の平均値と標準偏差(性別)	20
第20表 白血球の分布(性別)	21
第21表 赤血球の分布(性別)	22
第22表 血色素量の分布(性別)	23
第23表 ヘマトクリット値の分布(性別)	24
第24表 血小板数の分布(性別)	25
第25表 AST値の分布(性別)	26
第26表 ALT値の分布(性別)	27
第27表 γ -GTP値の分布(性別)	28
第28表 トリグリセリド値の分布(性別)	29
第29表 総コレステロール値の分布(性別)	30
第30表 HDL-コレステロール値の分布(性別)	31
第31表 尿酸値の分布(性別)	32
第32表 空腹時血糖値の分布(性別)	33

イ. 松岡キャンパス	34
第 33 表 身長、体重、BMI の平均値及び標準偏差（性、学年別）	34
第 34 表 痩せと肥満の割合（性、学年別）	35
第 35 表 血圧の状況（性、学年別）	36
第 36 表 尿検査の状況（性、学年別）	37
第 37 表 胸部 X 線検査の状況（性、学年別）	38
第 38 表 血液検査の平均値と標準偏差（性別）	39
第 39 表 白血球数の分布（性別）	40
第 40 表 赤血球の分布（性別）	41
第 41 表 血色素量の分布（性別）	42
第 42 表 ヘマトクリット値の分布（性別）	43
第 43 表 血小板数の分布（性別）	44
第 44 表 AST 値の分布（性別）	45
第 45 表 ALT 値の分布（性別）	46
第 46 表 γ -GTP 値の分布（性別）	47
第 47 表 トリグリセリド値の分布（性別）	48
第 48 表 総コレステロール値の分布（性別）	49
第 49 表 HDL-コレステロール値の分布（性別）	50
第 50 表 尿酸値の分布（性別）	51
第 51 表 血糖値の分布（性別）	52
第 52 表 HbA1c の分布（性別）	53
第 53 表 総蛋白の分布（性別）	54
第 54 表 アルブミンの分布（性別）	55

II 保健管理センター利用状況

1. 平成 28 年度保健管理センター利用状況（学生）	57
ア. 文京キャンパス	57
イ. 松岡キャンパス	58
2. 平成 28 年度保健管理センター利用状況（職員）	59
ア. 文京キャンパス	59
イ. 松岡キャンパス	60
3. 平成 28 年度保健管理センター利用状況（心理相談）	61
ア. 文京キャンパス	61
イ. 松岡キャンパス	67

I 学生健康管理状况

1. 実施要領

(1) 一次検診

一次検診として、身体計測（身長、体重）、血圧測定、尿検査、内科検診、視力測定、胸部間接X線検査および血液検査（末梢血液、肝機能、脂質、尿酸、血糖）を行った。
対象学生は下記のとおりである。

			身体計測	血圧測定	尿検査	内科検診	視力測定	胸部×線検査	血液検査		
学部	教育学部		1年	○	○	○		○	○		
	国際地域学部		1年	○	○	○		○	○		
	教育地域科学部		2年	○	○	○					
			3年	○	○	○					
			4年	○	○	○	△	○			
			1年	○	○	○		○	○		
	工学部		2年	○	○	○					
			3年	○	○	○					
			4年	○	○	○	△	○			
			1年	○	○	○		○	○		
	医学部		医学科		2年	○	○	○		○	
					3年	○	○	○		○	
					4年	○	○	○		○	
					5年	○	○	○		○	
					6年	○	○	○		○	
					1年	○	○	○		○	○
看護学科			2年	○	○	○		○			
			3年	○	○	○		○			
			4年	○	○	○		○			
			1年	○	○	○		○	○		
大学院	教育学研究科		1年	○	○	○					
			2年	○	○	○		△			
	工学研究科	前期	1年	○	○	○					
			2年	○	○	○		△			
		後期	1年	○	○	○					
			2年	○	○	○					
	医学系研究科		3年	○	○	○		△			
			1年	○	○	○		○	○		
			2年	○	○	○			○		
			3年	○	○	○			○		
		4年	○	○	○		○				
研究生、科目等履修生、聴講生			○	○	○						

○：対象者 △：必要と判断された者

(2) 二次検診

ア. 血圧測定

日本高血圧学会の基準（2004年）に従い、高血圧の学生を対象に再検査を行った。

イ. 尿検査

蛋白（+）、尿糖（±）、潜血（+）以上の陽性を示した学生は、早朝尿で再検査を行い、精査の必要な学生は医療機関へ紹介した。

ウ. 内科検診

健康調査という形態を採用。保健師が問診聴取。問診で医師の診察が必要と判断した学生に対し後日、医師による内科検診を実施した。なお、既に医療機関で治療している者は内科検診対象から省いた。

医師による内科検診を実施した。なお、既に医療機関で治療している者は内科検診対象から省いた。

内科検診で異常の指摘を受けた学生には健康相談、心電図検査等を行い、精査を必要とする学生は医療機関へ紹介した。

エ. 胸部X線検査

間接撮影像で異常を指摘された学生は医療機関へ紹介し、精査を依頼した。なお、対象学生は1年生および最終学年に限定している。

オ. 血液検査

検査結果に異常を認めた学生には健康相談を行い、精査が必要な学生は医療機関へ紹介した。

2. 平成28年度定期健康診断の成績

(1) 受検状況の成績

ア. 文京キャンパス

第1表 身長、体重の受検率と肥満、痩せの割合

		性別	身長、体重			肥満※注1		痩せ※注2			
			対象者数 (人)	受検者数 (人)	受検率 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)		
学 部	教育学部	1年	男	34	34	100.0	6	17.6	3	8.8	
		女	72	72	100.0	8	11.1	14	19.4		
	国際地域学部	1年	男	20	20	100.0	3	15.0	4	20.0	
		女	44	44	100.0	4	9.1	12	27.3		
	教育地域科学部	2年	男	62	61	98.4	13	21.3	5	8.2	
			女	104	103	99.0	9	8.7	10	9.7	
		3年	男	56	51	91.1	9	17.6	0	0.0	
			女	111	110	99.1	7	6.4	25	22.7	
		4年	男	89	76	85.4	11	14.5	8	10.5	
			女	104	96	92.3	8	8.3	19	19.8	
	工 学 部	1年	男	464	463	99.8	55	11.9	62	13.4	
			女	81	81	100.0	11	13.6	19	23.5	
		2年	男	453	382	84.3	31	8.1	69	18.1	
			女	90	79	87.8	6	7.6	12	15.2	
		3年	男	516	385	74.6	48	12.5	59	15.3	
			女	80	65	81.3	2	3.1	17	26.2	
4年		男	668	525	78.6	64	12.2	78	14.9		
		女	100	91	91.0	4	16.0	22	24.2		
小 計	男	2,362	1,997	84.5	240	12.0	288	14.4			
	女	786	741	94.3	59	8.0	150	20.2			
	計	3,148	2,738	87.0	299	10.9	438	16.0			
大 学 院	教育学研究科	1年	男	35	17	48.6	7	41.2	0	0.0	
			女	25	10	40.0	1	10.0	1	10.0	
		2年	男	44	19	43.2	4	21.1	2	10.5	
			女	29	16	55.2	3	18.8	1	6.3	
	工学研究科	前期	1年	男	266	232	87.2	37	15.9	19	8.2
			女	35	31	88.6	2	6.5	8	25.8	
		2年	男	258	238	92.2	44	18.5	25	10.5	
			女	24	23	95.8	1	4.3	4	17.4	
		後期	1年	男	22	9	40.9	4	44.4	0	0.0
			女	2	2	100.0	1	50.0	0	0.0	
	2年	男	20	6	30.0	1	16.7	1	16.7		
		女	10	1	10.0	0	0.0	1	100.0		
	3年	男	47	6	12.8	1	16.7	1	16.7		
		女	8	2	25.0	0	0.0	0	0.0		
	小 計	男	692	527	76.2	98	18.6	48	9.1		
		女	133	85	63.9	8	9.4	15	17.6		
計		825	612	74.2	106	17.3	63	10.3			
合 計	男	3,054	2,524	82.6	338	13.4	336	13.3			
	女	919	826	89.9	67	8.1	165	20.0			
	計	3,973	3,350	84.3	405	12.1	501	15.0			

※注1) 肥満 : BMI 25.0 以上

※注2) 痩せ : BMI 18.5 未満

第2表 血圧測定の実検率と高血圧の割合

		性別	対象者数 (人)	受検者数 (人)	受検率 (%)	高血圧※			
						人数 (人)	割合 (%)		
学 部	教育学部	1年	男 34 女 72	34 72	100.0 100.0	16 10	47.1 13.9		
		国際地域学部	1年	男 20 女 44	20 44	100.0 100.0	8 2	40.0 4.5	
	教育地域科学部		2年	男 62 女 104	61 103	98.4 99.0	27 12	44.3 11.7	
		3年	男 56 女 111	48 108	85.7 97.3	18 13	37.5 12.0		
			4年	男 89 女 104	77 95	86.5 91.3	28 8	36.4 8.4	
		工 学 部	1年	男 464 女 81	463 81	99.8 100.0	138 10	29.8 12.3	
	2年			男 453 女 90	378 78	83.4 86.7	105 9	27.8 11.5	
			3年	男 516 女 80	391 65	75.8 81.3	125 7	32.0 10.8	
	4年			男 668 女 100	525 91	78.6 91.0	172 11	32.8 12.1	
			小 計	男 2,362 女 786	1,997 737	84.5 93.8	637 82	31.9 11.1	
				計 3,148	2,734	86.8	719	26.3	
	大 学 院		教育学研究科	1年	男 35 女 25	17 10	48.6 40.0	8 0	47.1 0.0
				2年	男 44 女 29	19 16	43.2 55.2	8 1	42.1 6.3
		工学研究科	前期		1年	男 266 女 35	231 32	86.8 91.4	86 1
2年				男 258 女 24	239 23	92.6 95.8	92 2	38.5 8.7	
後期			1年	男 22 女 2	9 2	40.9 100.0	0 0	0.0 0.0	
			2年	男 20 女 10	6 1	30.0 10.0	3 0	50.0 0.0	
				3年	男 47 女 8	6 2	12.8 25.0	2 0	33.3 0.0
			小 計		男 692 女 133	527 86	76.2 64.7	199 4	37.8 4.7
		計 825		613	74.3	203	33.1		
合 計		男 3,054 女 919	2,524 823	82.6 89.6	836 86	33.1 10.4			
				計 3,973	3,347	84.2	922	27.5	

※注1) 高血圧：収縮期血圧 140 mmHg以上または／および拡張期血圧 90 mmHg以上

第3表 尿検査の受検率、異常者数と異常者の割合

		性別	対象者数 (人)	受検者数 (人)	受検率 (%)	異常者※			
						人数 (人)	割合 (%)		
学 部	教育学部	1年	男	34	33	97.1	3	9.1	
			女	72	72	100.0	12	16.7	
	国際地域学部	1年	男	20	20	100	3	15	
			女	44	44	100	5	11	
	教育地域科学部	2年	男	62	61	98.4	3	4.9	
			女	104	100	96.2	6	6.0	
		3年	男	56	49	87.5	4	8.2	
			女	111	107	96.4	5	4.7	
		4年	男	89	77	86.5	4	5.2	
			女	104	94	90.4	5	5.3	
	工学部	1年	男	464	461	99.4	43	9.3	
			女	81	81	100.0	9	11.1	
		2年	男	453	357	78.8	23	6.4	
			女	90	70	77.8	2	2.9	
3年		男	516	363	70.3	15	4.1		
		女	80	55	68.8	1	1.8		
4年		男	668	515	77.1	24	4.7		
		女	100	91	91.0	5	5.5		
小 計		男	2,362	1,936	82.0	122	6.3		
		女	786	714	90.8	50	7.0		
		計	3,148	2,650	84.2	172	6.5		
大 学 院	教育学研究科	1年	男	35	15	42.9	3	20.0	
			女	25	10	40.0	1	10.0	
		2年	男	44	20	45.5	1	5.0	
			女	29	16	55.2	1	6.3	
	工学研究科	前期	1年	男	266	214	80.5	11	5.1
				女	35	28	80.0	1	3.6
			2年	男	258	238	92.2	11	4.6
		女		24	23	95.8	2	8.7	
		後期	1年	男	22	9	40.9	1	11.1
				女	2	2	100.0	0	0.0
	2年		男	20	6	30.0	0	0.0	
		女	10	1	10.0	1	100.0		
	3年	男	47	6	12.8	0	0.0		
		女	8	2	25.0	0	0.0		
小 計		男	692	508	73.4	27	5.3		
		女	133	82	61.7	6	7.3		
		計	825	590	71.5	33	5.6		
合 計		男	3,054	2,444	80.0	149	6.1		
		女	919	796	86.6	56	7.0		
		計	3,973	3,240	82	205	6.3		

※注1) 異常者：蛋白、潜血は(+)以上、糖(±)以上の陽性者、重複している者あり

第4表 健康調査の受検率、内科検診を必要と判断した者の人数と割合

			性別	対象者数 (人)	受検者数 (人)	受検率 (%)	内科検診対象者		
							人数 (人)	割合 (%)	
学 部	教育地域科学部	4年	男	89	69	77.5	1	1.4	
			女	104	88	84.6	2	2.3	
	工 学 部	4年	男	668	436	65.3	6	1.4	
			女	100	72	72.0	2	2.8	
	小 計		男	757	505	66.7	7	1.4	
			女	204	160	78.4	4	2.5	
計			961	665	69.2	11	1.7		
大 学 院	教育学研究科	2年	男	44	18	40.9	0	0.0	
			女	29	12	41.4	0	0.0	
	工学研究科	前期	2年	男	258	226	87.6	4	1.8
				女	24	21	87.5	0	0.0
		後期	3年	男	47	6	12.8	0	0.0
	女			8	1	12.5	0	0.0	
	小 計		男	349	250	71.6	4	1.6	
女			61	34	55.7	0	0.0		
計			410	284	69.3	4	1.4		
合 計			男	1,106	755	68.3	11	1.5	
			女	265	194	73.2	4	2.1	
			計	1,371	949	69.2	15	1.6	

第5表 胸部X線検査の受検率、異常所見を有する者の人数と割合

		性別	対象者数 (人)	受検者数 (人)	受検率 (%)	有所見者			
						人数 (人)	割合 (%)		
学 部	教育学部	1年	男	34	34	100.0	1	2.9	
		女	72	72	100.0	3	4.2		
	国際地域学部	1年	男	20	20	100.0	0	0.0	
			女	44	44	100.0	0	0.0	
	教育地域科学部	4年	男	89	76	85.4	3	3.9	
			女	104	96	92.3	3	3.1	
	工 学 部	1年	男	464	463	99.8	16	3.5	
			女	81	81	100.0	2	2.5	
		4年	男	668	483	72.3	13	2.7	
			女	100	86	86.0	2	2.3	
小 計		男	1,275	1,076	84.4	33	3.1		
		女	401	379	94.5	10	2.6		
		計	1,676	1,455	86.8	43	3.0		
大 学 院	教育学研究科	2年	男	44	19	43.2	0	0.0	
			女	29	16	55.2	1	6.3	
	工学研究科	前期	2年	男	258	235	91.1	6	2.6
				女	24	22	91.7	0	0.0
		後期	3年	男	47	6	12.8	0	0.0
				女	8	2	25.0	0	0.0
	小 計		男	349	260	74.5	6	2.3	
			女	61	40	65.6	1	2.5	
計			410	300	73.2	7	2.3		
合 計		男	1,624	1,336	82.3	39	2.9		
		女	462	419	90.7	11	2.6		
		計	2,086	1,755	84.1	50	2.8		

第6表 血液検査の受検率、異常者数と異常者の割合

		性別	対象者数 (人)	受検者数 (人)	受検率 (%)	異常者数※ (人)	異常率 (%)
教育学部	1年	男	34	34	100.0	12	35.3
		女	72	72	100.0	11	15.3
		計	106	106	100.0	23	21.7
国際地域学部	1年	男	20	20	100.0	8	40.0
		女	44	44	100.0	10	22.7
		計	64	64	100.0	18	28.1
工学部	1年	男	464	463	99.8	116	25.1
		女	81	81	100.0	9	11.1
		計	545	544	99.8	125	23.0
合 計		男	518	517	99.8	136	26.3
		女	197	197	100.0	30	15.2
		計	715	714	99.9	166	23.2

※注1) 異常者数：異常の基準は下記の通りである

白血球	:	3,500(個/mm ³)未満または9,700(個/mm ³)以上
赤血球	:	男438,女376(万個/mm ³)未満
血色素	:	男13.6,女11.2(g/dl)未満
ヘマトクリット	:	男40.4,女34.3(%)未満
血小板	:	14.0(万個/mm ³)未満
AST	:	41(IU/L)以上
ALT	:	46(IU/L)以上
γ-GTP	:	男80,女49(IU/L)以上
トリグリセリド	:	150(mg/dl)以上
総コレステロール	:	220(mg/dl)以上
HDL-コレステロール	:	40(mg/dl)未満
尿酸	:	7.0(mg/dl)以上
空腹時血糖	:	110(mg/dl)以上

イ. 松岡キャンパス

第7表 身長・体重の受検率と肥満、痩せの割合

区分 学部、学年		性別	身長・体重			肥満		痩せ		
			対象者数 (人)	受検者数 (人)	受検率 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	
医 学 部	医 学 科	1年	男	70	70	100.0	6	8.6	4	5.7
			女	40	40	100.0	0	0.0	7	17.5
		2年	男	78	75	96.2	8	10.7	7	9.3
			女	38	38	100.0	0	0.0	4	10.5
		3年	男	72	68	94.4	6	8.8	0	0.0
			女	45	45	100.0	1	2.2	4	8.9
	4年	男	67	66	98.5	15	22.7	2	3.0	
		女	42	41	97.6	3	7.3	3	7.3	
	5年	男	75	75	100.0	7	9.3	3	4.0	
		女	43	43	100.0	0	0.0	8	18.6	
	6年	男	69	69	100.0	11	15.9	4	5.8	
		女	46	45	97.8	2	4.4	4	8.9	
	看 護 学 科	1年	男	3	3	100.0	0	0.0	0	0.0
			女	60	60	100.0	3	5.0	12	20.0
2年		男	6	6	100.0	0	0.0	1	16.7	
		女	58	58	100.0	1	1.7	4	6.9	
3年		男	3	3	100.0	1	33.3	0	0.0	
		女	54	54	100.0	0	0.0	7	13.0	
4年		男	8	8	100.0	0	0.0	2	25.0	
		女	50	50	100.0	0	0.0	11	22.0	
合 計		男	451	443	98.2	54	12.2	23	5.2	
		女	476	474	99.6	10	2.1	64	13.5	
		総数	927	917	98.9	64	7.0	87	9.5	

肥満*:BMI 25.0 以上、 痩せ**:BMI 18.5未満

第8表 血圧測定の実検率と高血圧の割合

区分 学部、学年		性別	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	高血圧		
						人数 (人)	割合 (%)	
医 学 部	医 学 科	1年	男	70	68	97.1	6	8.8
			女	40	40	100.0	0	0.0
		2年	男	78	75	96.2	2	2.7
			女	38	38	100.0	0	0.0
		3年	男	72	67	93.1	2	3.0
			女	45	44	97.8	0	0.0
	4年	男	67	66	98.5	3	4.5	
		女	42	41	97.6	0	0.0	
	5年	男	75	75	100.0	3	4.0	
		女	43	42	97.7	1	2.4	
	6年	男	69	69	100.0	6	8.7	
		女	46	45	97.8	1	2.2	
	看 護 学 科	1年	男	3	3	100.0	0	0.0
			女	60	60	100.0	1	1.7
2年		男	6	6	100.0	0	0.0	
		女	58	58	100.0	0	0.0	
3年		男	3	3	100.0	0	0.0	
		女	54	54	100.0	1	1.9	
4年		男	8	8	100.0	2	25.0	
		女	50	50	100.0	0	0.0	
合 計		男	451	440	97.6	24	5.5	
		女	476	472	99.2	4	0.8	
		総数	927	912	98.4	28	3.1	

* :収縮期血圧140mmHg以上または拡張期血圧90mmHg以上

第9表 尿検査の受検率、異常者数と異常者の割合

区分 学部、学年		性別	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	異常者		
						人数 (人)	割合 (%)	
学 部	医 学 科	1年	男	70	70	100.0	3	4.3
			女	40	40	100.0	0	0.0
		2年	男	78	69	88.5	7	10.1
			女	38	34	89.5	2	5.9
		3年	男	72	66	91.7	0	0.0
			女	45	44	97.8	0	0.0
		4年	男	67	61	91.0	0	0.0
			女	42	35	83.3	1	2.9
		5年	男	75	74	98.7	2	2.7
			女	43	43	100.0	2	4.7
		6年	男	69	67	97.1	0	0.0
			女	46	43	93.5	2	4.7
	看 護 学 科	1年	男	3	3	100.0	0	0.0
			女	60	60	100.0	5	8.3
2年		男	6	6	100.0	0	0.0	
		女	58	56	96.6	4	7.1	
3年		男	3	3	100.0	0	0.0	
		女	54	53	98.1	3	5.7	
4年		男	8	8	100.0	1	12.5	
		女	50	49	98.0	3	6.1	
合 計		男	451	427	94.7	13	3.0	
		女	476	457	96.0	22	4.8	
		総数	927	884	95.4	35	4.0	

*: 蛋白、潜血は(+)以上、糖は(±)以上の陽性者、重複している者あり。

第10表 視力測定の実検率

学部、学年		区分	性別	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)
医 学 部	医 学 科	1年	男	70	70	100.0
			女	40	40	100.0
	6年	男	69	66	95.7	
		女	46	45	97.8	
看 護 学 科	1年	男	3	3	100.0	
		女	60	60	100.0	
	4年	男	8	8	100.0	
女		50	50	100.0		
合 計			男	150	147	98.0
			女	196	195	99.5
			総数	346	342	98.8

第11表 胸部X線検査の受検率、異常所見を有する者の人数と割合

区分 学部、学年		性別	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	有所見者		
						人数 (人)	割合 (%)	
医 学 部	医 学 科	1年	男	70	70	100.0	4	5.7
			女	40	40	100.0	0	0.0
		2年	男	78	75	96.2	4	5.3
			女	38	38	100.0	0	0.0
		3年	男	72	70	97.2	3	4.3
			女	45	45	100.0	0	0.0
	4年	男	67	66	98.5	0	0.0	
		女	42	41	97.6	0	0.0	
	5年	男	75	75	100.0	3	4.0	
		女	43	43	100.0	0	0.0	
	6年	男	69	69	100.0	0	0.0	
		女	46	45	97.8	0	0.0	
	看 護 学 科	1年	男	3	3	100.0	0	0.0
			女	60	60	100.0	0	0.0
2年		男	6	6	100.0	0	0.0	
		女	58	58	100.0	0	0.0	
3年		男	3	3	100.0	0	0.0	
		女	54	54	100.0	0	0.0	
4年		男	8	8	100.0	0	0.0	
		女	50	50	100.0	0	0.0	
合 計		男	451	445	98.7	14	3.1	
		女	476	474	99.6	0	0.0	
		総数	927	919	99.1	14	1.5	

第12表 血液検査の受検率、異常者数と異常者の割合

			対象者数 (人)	受検者数 (人)	受検率 (%)	異常者数※ (人)	異常率 (%)
医 学 部	医学科1年	男	70	70	(100.0)	20	(28.6)
		女	40	40	(100.0)	8	(20.0)
		総数	110	110	(100.0)	28	(25.5)
	看護学科1年	男	3	3	(100.0)	2	(66.7)
		女	60	60	(100.0)	10	(16.7)
		総数	63	63	(100.0)	12	(19.0)
合 計		男	73	73	(100.0)	22	(30.1)
		女	100	100	(100.0)	18	(18.0)
		総数	173	173	(100.0)	40	(23.1)

異常者数※：異常の基準は下記の通りである。

白血球 (個/mm ³)	3,500 未満または 9,700 以上
赤血球 (万個/mm ³)	男438、女376 未満
血色素 (g/dl)	男13.6、女11.2 未満
ヘマトクリット (%)	男40.4、女34.3 未満
血小板 (万個/mm ³)	14.0 未満
AST (IU/l)	41 以上
ALT (IU/l)	46 以上
γ-GTP (IU/l)	男80、女49 以上
トリグリセリド (mg/dl)	150 以上
総コレステロール(mg/dl)	220 以上
HDL-コレステロール(mg/dl)	40 未満
尿酸 (mg/dl)	7.0 以上
空腹時血糖 (mg/dl)	110 以上
HbA1c(NGSP) (%)	6.1 以上
総蛋白 (g/dl)	6.5 未満、8.3 以上
アルブミン (g/dl)	3.7 未満

(2) 一次検診の成績
ア. 文京キャンパス

第13表 身長、体重、BMIの平均値及び標準偏差(性、学年別)

			人数 (人)	身長 (cm)		体重 (kg)		BMI (kg/m ²)		
				平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	
合計			2,524	171.7	5.8	65.7	10.9	22.3	3.4	
男	学部	1年	教育学部	34	171.4	6.2	65.1	12.7	22.1	3.7
			国際地域学部	20	168.3	7.2	60.4	10.7	21.3	3.4
			工学部	463	170.9	5.6	62.7	10.0	21.4	3.1
			計	517	170.2	5.7	62.8	10.3	21.6	3.2
	2年	教育地域科学部	61	170.4	5.1	64.3	10.3	22.1	3.3	
		工学部	382	171.4	5.6	61.6	10.2	21.0	3.2	
		計	443	170.9	5.6	63.0	10.3	21.6	3.2	
	3年	教育地域科学部	51	172.4	5.2	67.3	10.8	22.6	3.4	
		工学部	385	171.5	6.1	62.9	11.1	21.3	3.3	
		計	436	171.9	6.0	65.1	11.1	22.0	3.4	
	4年	教育地域科学部	76	172.5	5.5	65.3	11.1	21.9	3.6	
		工学部	525	172.1	5.7	63.7	10.8	21.5	3.4	
		計	601	172.3	5.7	64.5	10.8	21.7	3.4	
	小計			1,997	171.2	5.8	63.7	10.7	21.7	3.3
大学院	教育学研究科	1年	17	171.8	4.5	73.8	14.8	25.0	4.7	
		2年	19	171.3	5.2	64.6	7.3	22.1	2.7	
	工学研究科前期	1年	232	171.1	6.0	64.8	10.6	22.1	3.2	
		2年	238	172.9	5.6	66.6	12.2	22.2	3.9	
	工学研究科後期	1年	9	171.7	7.0	70.2	7.8	23.9	3.2	
		2年	6	174.2	6.6	70.6	15.2	23.4	5.6	
		3年	6	172.7	6.8	67.1	10.2	22.6	4.3	
小計			527	172.2	5.9	68.2	11.6	23.0	3.7	
合計			826	158.3	5.2	51.9	7.7	20.7	2.8	
女	学部	1年	教育学部	72	159.1	4.9	53.4	9.6	21.1	3.8
			国際地域学部	44	157.9	5.1	51.4	7.7	20.6	2.7
			工学部	81	157.0	5.1	51.3	7.3	20.8	2.7
			計	197	158.0	5.1	52.0	8.4	20.8	3.2
	2年	教育地域科学部	103	158.3	5.1	52.7	7.3	21.0	2.7	
		工学部	79	158.5	4.6	52.8	7.0	21.0	2.7	
		計	182	158.4	4.9	52.7	7.2	21.0	2.7	
	3年	教育地域科学部	110	159.4	5.5	52.3	7.3	20.6	2.6	
		工学部	65	157.9	5.0	50.7	7.5	20.3	2.8	
	計			175	158.7	5.4	51.5	7.4	20.4	2.7
	4年	教育地域科学部	96	159.4	5.3	53.5	8.0	21.0	2.7	
		工学部	91	159.3	5.4	51.6	6.7	20.3	2.4	
		計	187	159.4	5.3	52.5	7.5	20.7	2.6	
	小計			741	158.6	5.2	52.2	7.7	20.7	2.8
大学院	教育学研究科	1年	10	159.3	2.4	54.4	6.7	21.4	2.5	
		2年	16	159.9	5.4	55.5	8.3	21.8	3.4	
	工学研究科前期	1年	31	158.6	3.9	52.5	7.7	20.9	3.0	
		2年	23	158.7	7.9	50.8	8.5	20.1	2.5	
	工学研究科後期	1年	2	154.7	4.3	54.5	6.3	23.0	4.0	
		2年	1	151.0	0.0	37.9	0.0	16.6	0.0	
		3年	2	163.4	0.2	54.7	0.1	20.5	0.1	
小計			85	157.9	5.6	51.5	8.1	20.6	3.0	

第14表 痩せと肥満[※]の割合（性、学年別）

単位／％（人）

		総数	痩せ	正常	肥満1度	肥満2度	肥満3度	肥満4度	
男	合計	100.0 (2,524)	13.5 (342)	73.1 (1,845)	10.5 (265)	2.3 (59)	0.3 (8)	0.2 (5)	
	学部	1年	100.0 (517)	13.5 (70)	74.1 (383)	10.4 (54)	1.5 (8)	0.0 (0)	0.4 (2)
		2年	100.0 (443)	16.7 (74)	73.4 (325)	8.6 (38)	0.7 (3)	0.2 (1)	0.5 (2)
		3年	100.0 (436)	13.5 (59)	73.4 (320)	10.6 (46)	2.1 (9)	0.2 (1)	0.2 (1)
		4年	100.0 (601)	15.0 (90)	72.5 (436)	9.5 (57)	2.5 (15)	0.5 (3)	0.0 (0)
	大学院	教育学研究科	100.0 (36)	5.6 (2)	63.9 (23)	16.7 (6)	13.9 (5)	0.0 (0)	0.0 (0)
		工学研究科前期	100.0 (470)	9.6 (45)	73.2 (344)	13.0 (61)	3.8 (18)	0.4 (2)	0.0 (0)
		工学研究科後期	100.0 (21)	9.5 (2)	66.7 (14)	14.3 (3)	4.8 (1)	4.8 (1)	0.0 (0)
	女	合計	100.0 (827)	20.0 (165)	71.8 (594)	7.1 (59)	0.8 (7)	0.2 (2)	0.0 (0)
		学部	1年	100.0 (197)	22.8 (45)	65.5 (129)	10.7 (21)	0.5 (1)	0.5 (1)
2年			100.0 (182)	12.1 (22)	79.7 (145)	7.1 (13)	1.1 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)
3年			100.0 (175)	24.0 (42)	70.9 (124)	4.0 (7)	1.1 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)
4年			100.0 (187)	21.9 (41)	71.7 (134)	5.9 (11)	0.5 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)
大学院		教育学研究科	100.0 (26)	7.7 (2)	76.9 (20)	15.4 (4)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
		工学研究科前期	100.0 (55)	21.8 (12)	70.9 (39)	3.6 (2)	1.8 (1)	1.8 (1)	0.0 (0)
		工学研究科後期	100.0 (5)	20.0 (1)	60.0 (3)	20.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)

※注1) 肥満：BMI (kg/m²) による肥満の分類（日本肥満学会、2000年）

痩 せ：BMI 18.5未満

正 常：BMI 18.5以上25未満

肥 満 1 度：BMI 25以上30未満

肥 満 2 度：BMI 30以上35未満

肥 満 3 度：BMI 35以上40未満

肥 満 4 度：BMI 40以上

第15表 血圧※の状況（性、学年別）

単位／%（人）

		総 数	至適血圧	正常血圧	高値正常血圧	高血圧	
男	合 計	100.0 (2,523)	22.9 (577)	21.8 (549)	22.2 (561)	33.1 (836)	
	学 部	1 年	100.0 (517)	21.5 (111)	22.2 (115)	25.0 (129)	31.3 (162)
		2 年	100.0 (439)	24.6 (108)	21.0 (92)	24.4 (107)	30.1 (132)
		3 年	100.0 (439)	25.3 (111)	22.1 (97)	20.0 (88)	32.6 (143)
		4 年	100.0 (601)	24.3 (146)	21.6 (130)	20.8 (125)	33.3 (200)
	大 学 院	教育学研究科	100.0 (36)	13.9 (5)	22.2 (8)	19.4 (7)	44.4 (16)
		工学研究科前期	100.0 (470)	20.0 (94)	20.9 (98)	21.3 (100)	37.9 (178)
		工学研究科後期	100.0 (21)	9.5 (2)	42.9 (9)	23.8 (5)	23.8 (5)
	女	合 計	100.0 (823)	57.0 (469)	20.4 (168)	12.2 (100)	10.4 (86)
		学 部	1 年	100.0 (197)	55.8 (110)	19.3 (38)	13.7 (27)
2 年			100.0 (181)	59.1 (107)	18.8 (34)	10.5 (19)	11.6 (21)
3 年			100.0 (173)	63.0 (109)	15.6 (27)	9.8 (17)	11.6 (20)
4 年			100.0 (186)	51.1 (95)	25.8 (48)	12.9 (24)	10.2 (19)
大 学 院		教育学研究科	100.0 (26)	57.7 (15)	26.9 (7)	11.5 (3)	3.8 (1)
		工学研究科前期	100.0 (55)	54.5 (30)	23.6 (13)	16.4 (9)	5.5 (3)
		工学研究科後期	100.0 (5)	60.0 (3)	20.0 (1)	20.0 (1)	0.0 (0)

※注1) 血圧：血圧（mmHg）分類（日本高血圧学会、2004年）

至 適 血 圧： 収縮期血圧120未満および拡張期血圧80未満

正 常 血 圧： 収縮期血圧130未満および拡張期血圧85未満

高 値 正 常 血 圧： 収縮期血圧130～139または拡張期血圧85～89

高 血 圧： 収縮期血圧140以上および拡張期血圧90以上

収縮期血圧と拡張期血圧が異なる分類に属する場合は、高いほうの分類に組み入れる。

第16表 尿検査の状況（性、学年別）

単位／％（人）

		総 数	正 常	蛋白陽性	糖陽性	潜血陽性	
男	合 計	100.0 (2,444)	93.8 (2293)	4.6 (112)	1.0 (25)	0.6 (15)	
	学 部	1 年	100.0 (514)	90.3 (464)	8.8 (45)	0.6 (3)	0.4 (2)
		2 年	100.2 (418)	93.8 (392)	4.1 (17)	1.7 (7)	0.7 (3)
		3 年	100.0 (412)	95.4 (393)	3.9 (16)	0.5 (2)	0.2 (1)
		4 年	100.0 (592)	95.1 (563)	3.2 (19)	0.8 (5)	0.8 (5)
	大 学 院	教育学研究科	100.0 (35)	88.6 (31)	5.7 (2)	5.7 (2)	0.0 (0)
		工学研究科前期	100.0 (452)	95.1 (430)	2.7 (12)	1.3 (6)	0.9 (4)
		工学研究科後期	100.0 (21)	95.2 (20)	4.8 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)
	女	合 計	100.0 (796)	93.2 (742)	3.5 (28)	0.4 (3)	3.8 (30)
		学 部	1 年	101.0 (197)	86.8 (171)	9.6 (19)	0.5 (1)
2 年			101.2 (170)	96.5 (164)	1.8 (3)	0.0 (0)	2.9 (5)
3 年			100.6 (162)	96.3 (156)	1.9 (3)	0.6 (1)	1.9 (3)
4 年			100.5 (185)	94.6 (175)	1.1 (2)	0.5 (1)	4.3 (8)
大 学 院		教育学研究科	100.0 (26)	92.3 (24)	0.0 (0)	0.0 (0)	7.7 (2)
		工学研究科前期	102.0 (51)	94.1 (48)	2.0 (1)	0.0 (0)	5.9 (3)
		工学研究科後期	100.0 (5)	80.0 (4)	0.0 (0)	0.0 (0)	20.0 (1)

※注1) 2項目以上の陽性があるため、割合の合計は100%を超える。

第17表 内科検診の状況（性、学年別）

単位／%（人）

		総 数	異常なし	経過観察	医療機関紹介
合 計		100 (14)	78.6 (11)	14.3 (2)	21.4 (3)
男	学部				
	教育地域科学部4年	200 (1)	0.0 (0)	100.0 (1)	100.0 (1)
	工学部4年	100 (6)	100.0 (6)	0.0 (0)	0.0 (0)
	計	114 (7)	85.7 (6)	14.3 (1)	14.3 (1)
	大学院				
	教育学研究科2年	- (0)	- (0)	- (0)	- (0)
	工学研究科前期2年	100 (3)	100.0 (3)	0.0 (0)	0.0 (0)
工学研究科後期3年	- (0)	- (0)	- (0)	- (0)	
計	100 (3)	100.0 (3)	0.0 (0)	0.0 (0)	
女	学部				
	教育地域科学部4年	150 (2)	50.0 (1)	50.0 (1)	50.0 (1)
	工学部4年	100 (2)	50.0 (1)	0.0 (0)	50.0 (1)
	計	125 (4)	50.0 (2)	25.0 (1)	50.0 (2)
	大学院				
	教育学研究科2年	- (0)	- (0)	- (0)	- (0)
	工学研究科前期2年	- (0)	- (0)	- (0)	- (0)
工学研究科後期3年	- (0)	- (0)	- (0)	- (0)	
計	- (0)	- (0)	- (0)	- (0)	

※注1) 健康調査受検者893名。うち内科検診対象者13名に対し、医師診察実施。

※注2) 重複該当者があるため、割合の合計は100%を超える。

第18表 胸部X線検査の状況（性、学年別）

単位／％（人）

		計	正常	肺陰影	心血管陰影	その他
合計		100.0 (1,740)	98.2 (1,709)	0.5 (8)	0.3 (6)	1.0 (17)
男	学部					
	1年	100.0 (517)	97.9 (506)	1.0 (5)	0.4 (2)	0.8 (4)
	4年	100.0 (559)	97.9 (547)	0.4 (2)	0.2 (1)	1.6 (9)
	大学院					
	教育学研究科2年	100.0 (19)	100.0 (19)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
	工学研究科前期2年	100.0 (235)	97.9 (230)	0.0 (0)	0.9 (2)	1.3 (3)
	工学研究科後期3年	100.0 (6)	100.0 (6)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
女	学部					
	1年	100.0 (197)	100.0 (197)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
	4年	100.0 (167)	98.8 (165)	0.0 (0)	0.6 (1)	0.6 (1)
	大学院					
	教育学研究科2年	100.0 (16)	93.8 (15)	6.3 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)
	工学研究科前期2年	100.0 (22)	100.0 (22)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
	工学研究科後期3年	100.0 (2)	100.0 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)

第19表 血液検査の平均値と標準偏差（性別）

検査項目	男			女			単 位
	人数	平均値	標準偏差	人数	平均値	標準偏差	
白 血 球	517	5.9	1.6	197	6.0	1.6	千個/mm ³
赤 血 球	517	540.7	39.3	197	472.2	29.3	万個/mm ³
血 色 素	517	16.1	1.1	197	13.7	1.1	g/dl
ヘ マ ト ク リ ッ ト	517	46.8	3.0	197	40.9	2.7	%
血 小 板	517	24.2	4.6	197	26.8	5.1	万個/mm ³
A S T	517	20.2	13.6	197	17.1	4.1	IU/L
A L T	517	19.9	20.6	197	13.3	9.4	IU/L
γ - G T P	517	20.9	10.0	197	15.9	10.0	IU/L
ト リ グ リ セ リ ド	517	68.8	38.5	197	60.5	27.7	mg/dl
総 コ レ ス テ ロ ー ル	517	157.2	26.7	197	171.9	26.1	mg/dl
H D L - コ レ ス テ ロ ー ル	517	56.6	11.6	197	65.6	11.6	mg/dl
尿 酸	517	5.8	1.1	197	4.2	0.8	mg/dl
空 腹 時 血 糖	517	87.0	8.7	197	85.8	8.5	mg/dl

第20表 白血球の分布（性別）

単位／%（人）

	計	男	女
合計	100.0 (716)	100.0 (521)	100.0 (195)
2.0千個/mm ³ 未満	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
2.0 ~ 2.9	0.1 (1)	0.2 (1)	0.0 (0)
3.0 ~ 3.9	4.9 (35)	4.4 (23)	6.2 (12)
4.0 ~ 4.9	23.3 (167)	23.8 (124)	22.1 (43)
5.0 ~ 5.9	29.3 (210)	30.5 (159)	26.2 (51)
6.0 ~ 6.9	22.5 (161)	21.3 (111)	25.6 (50)
7.0 ~ 7.9	9.8 (70)	10.4 (54)	8.2 (16)
8.0 ~ 8.9	5.4 (39)	5.0 (26)	6.7 (13)
9.0 ~ 9.9	2.5 (18)	1.9 (10)	4.1 (8)
10.0 ~ 10.9	0.7 (5)	0.6 (3)	1.0 (2)
11.0 ~ 11.9	0.4 (3)	0.4 (2)	0.5 (1)
12.0千個/mm ³ 以上	0.7 (5)	0.8 (4)	0.5 (1)
平均値 (千個/mm ³)	5.9	5.9	6.0
標準偏差 (千個/mm ³)	1.6	1.6	1.6

第21表 赤血球の分布（性別）

単位／%（人）

	計	男	女
合 計	100.0 (714)	100.0 (517)	100.0 (197)
360万個/mm ³ 未満	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
360 ~ 379	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
380 ~ 399	0.3 (2)	0.0 (0)	1.0 (2)
400 ~ 419	0.4 (3)	0.2 (1)	1.0 (2)
420 ~ 439	3.4 (24)	0.2 (1)	11.7 (23)
440 ~ 459	5.2 (37)	0.2 (1)	18.3 (36)
460 ~ 479	8.3 (59)	1.4 (7)	26.4 (52)
480 ~ 499	11.5 (82)	6.2 (32)	25.4 (50)
500 ~ 519	15.3 (109)	16.6 (86)	11.7 (23)
520 ~ 539	18.3 (131)	23.8 (123)	4.1 (8)
540 ~ 559	18.1 (129)	24.8 (128)	0.5 (1)
560 ~ 579	12.2 (87)	16.8 (87)	0.0 (0)
580 ~ 599	4.8 (34)	6.6 (34)	0.0 (0)
600万個/mm ³ 以上	2.4 (17)	3.3 (17)	0.0 (0)
平均値 (万個/mm ³)	521.8	540.7	472.2
標準偏差 (万個/mm ³)	43.4	39.3	29.3

第22表 血色素量の分布（性別）

単位／%（人）

	計	男	女
合 計	100.0 (714)	100.0 (517)	100.0 (197)
8.0g/dl未満	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
8.0 ~ 8.9	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
9.0 ~ 9.9	0.3 (2)	0.0 (0)	1.0 (2)
10.0 ~ 10.9	0.3 (2)	0.0 (0)	1.0 (2)
11.0 ~ 11.9	1.1 (8)	0.0 (0)	4.1 (8)
12.0 ~ 12.9	2.9 (21)	0.2 (1)	10.2 (20)
13.0 ~ 13.9	12.2 (87)	0.6 (3)	42.6 (84)
14.0 ~ 14.9	15.3 (109)	9.1 (47)	31.5 (62)
15.0 ~ 15.9	29.0 (207)	36.6 (189)	9.1 (18)
16.0 ~ 16.9	27.5 (196)	37.7 (195)	0.5 (1)
17.0 ~ 17.9	10.4 (74)	14.3 (74)	0.0 (0)
18.0g/dl以上	1.1 (8)	1.5 (8)	0.0 (0)
平均値 (g/dl)	15.4	16.1	13.7
標準偏差 (g/dl)	1.4	1.1	1.1

第23表 ヘマトクリット値の分布（性別）

				単位／%（人）		
合 計	計		男		女	
合 計	100.0	（ 714 ）	100.0	（ 517 ）	100.0	（ 197 ）
30.0%未満	0.0	（ 0 ）	0.0	（ 0 ）	0.0	（ 0 ）
30.0 ～ 30.9	0.1	（ 1 ）	0.0	（ 0 ）	0.5	（ 1 ）
31.0 ～ 31.9	0.1	（ 1 ）	0.0	（ 0 ）	0.5	（ 1 ）
32.0 ～ 32.9	0.0	（ 0 ）	0.0	（ 0 ）	0.0	（ 0 ）
33.0 ～ 33.9	0.1	（ 1 ）	0.0	（ 0 ）	0.5	（ 1 ）
34.0 ～ 34.9	0.1	（ 1 ）	0.0	（ 0 ）	0.5	（ 1 ）
35.0 ～ 35.9	0.3	（ 2 ）	0.0	（ 0 ）	1.0	（ 2 ）
36.0 ～ 36.9	0.8	（ 6 ）	0.0	（ 0 ）	3.0	（ 6 ）
37.0 ～ 37.9	1.8	（ 13 ）	0.0	（ 0 ）	6.6	（ 13 ）
38.0 ～ 38.9	2.7	（ 19 ）	0.0	（ 0 ）	9.6	（ 19 ）
39.0 ～ 39.9	3.4	（ 24 ）	0.0	（ 0 ）	12.2	（ 24 ）
40.0 ～ 40.9	4.2	（ 30 ）	1.2	（ 6 ）	12.2	（ 24 ）
41.0 ～ 41.9	5.5	（ 39 ）	0.4	（ 2 ）	18.8	（ 37 ）
42.0 ～ 42.9	4.6	（ 33 ）	1.9	（ 10 ）	11.7	（ 23 ）
43.0 ～ 43.9	6.2	（ 44 ）	4.3	（ 22 ）	11.2	（ 22 ）
44.0 ～ 44.9	10.6	（ 76 ）	12.6	（ 65 ）	5.6	（ 11 ）
45.0 ～ 45.9	11.8	（ 84 ）	14.5	（ 75 ）	4.6	（ 9 ）
46.0 ～ 46.9	13.3	（ 95 ）	18.0	（ 93 ）	1.0	（ 2 ）
47.0 ～ 47.9	12.5	（ 89 ）	17.0	（ 88 ）	0.5	（ 1 ）
48.0 ～ 48.9	9.4	（ 67 ）	13.0	（ 67 ）	0.0	（ 0 ）
49.0 ～ 49.9	7.0	（ 50 ）	9.7	（ 50 ）	0.0	（ 0 ）
50.0%以上	5.5	（ 39 ）	7.5	（ 39 ）	0.0	（ 0 ）
平均値 （%）	45.2		46.8		40.7	
標準偏差 （%）	3.5		3.0		2.7	

第24表 血小板数の分布(性別)

単位/％(人)

	計	男	女
合計	100.0 (714)	100.0 (517)	100.0 (197)
10万個/mm ³ 未満	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
10.0 ~ 11.9	0.1 (1)	0.2 (1)	0.0 (0)
12.0 ~ 13.9	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
14.0 ~ 15.9	1.3 (9)	1.5 (8)	0.5 (1)
16.0 ~ 17.9	3.4 (24)	3.7 (19)	2.5 (5)
18.0 ~ 19.9	9.1 (65)	11.4 (59)	3.0 (6)
20.0 ~ 21.9	14.1 (101)	15.9 (82)	9.6 (19)
22.0 ~ 23.9	18.9 (135)	20.5 (106)	14.7 (29)
24.0 ~ 25.9	13.3 (95)	12.8 (66)	14.7 (29)
26.0 ~ 27.9	15.4 (110)	14.7 (76)	17.3 (34)
28.0 ~ 29.9	10.5 (75)	9.5 (49)	13.2 (26)
30.0 ~ 31.9	5.7 (41)	5.0 (26)	7.6 (15)
32.0 ~ 33.9	3.5 (25)	1.9 (10)	7.6 (15)
34.0 ~ 35.9	2.7 (19)	1.7 (9)	5.1 (10)
36.0 ~ 37.9	0.8 (6)	0.6 (3)	1.5 (3)
38.0 ~ 39.9	0.4 (3)	0.2 (1)	1.0 (2)
40万個/mm ³ 以上	0.7 (5)	0.4 (2)	1.5 (3)
平均値 (万個/mm ³)	24.2	24.2	26.8
標準偏差 (万個/mm ³)	4.6	4.6	5.1

第25表 AST値の分布（性別）

単位／%（人）			
	計	男	女
合計	100.0 (714)	100.0 (517)	100.0 (197)
10IU/L未満	0.3 (2)	0.0 (0)	1.0 (2)
10 ~ 19	69.0 (493)	63.1 (326)	84.8 (167)
20 ~ 29	26.8 (191)	31.9 (165)	13.2 (26)
30 ~ 39	2.2 (16)	2.9 (15)	0.5 (1)
40 ~ 49	0.6 (4)	0.8 (4)	0.0 (0)
50 ~ 59	0.6 (4)	0.6 (3)	0.5 (1)
60 ~ 69	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
70 ~ 79	0.1 (1)	0.2 (1)	0.0 (0)
80 ~ 89	0.1 (1)	0.2 (1)	0.0 (0)
90 ~ 99	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
100 ~ 109	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
110 ~ 119	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
120 ~ 129	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
130 ~ 139	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
140 ~ 149	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
150 ~ 159	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
160 ~ 169	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
170 ~ 179	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
180 ~ 189	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
190 ~ 199	0.1 (1)	0.2 (1)	0.0 (0)
200IU/L以上	0.1 (1)	0.2 (1)	0.0 (0)
平均値 (IU/L)	19.4	20.2	17.1
標準偏差 (IU/L)	11.8	13.6	4.1

第26表 ALT値の分布（性別）

単位／%（人）

	計	男	女
合 計	100.0 (714)	100.0 (517)	100.0 (197)
10IU/L未満	14.8 (106)	8.7 (45)	31.0 (61)
10 ~ 19	60.6 (433)	61.3 (317)	58.9 (116)
20 ~ 29	14.3 (102)	17.0 (88)	7.1 (14)
30 ~ 39	5.3 (38)	7.0 (36)	1.0 (2)
40 ~ 49	1.7 (12)	1.9 (10)	1.0 (2)
50 ~ 59	1.0 (7)	1.4 (7)	0.0 (0)
60 ~ 69	0.8 (6)	1.2 (6)	0.0 (0)
70 ~ 79	0.3 (2)	0.2 (1)	0.5 (1)
80 ~ 89	0.3 (2)	0.4 (2)	0.0 (0)
90 ~ 99	0.3 (2)	0.2 (1)	0.5 (1)
100 ~ 109	0.1 (1)	0.2 (1)	0.0 (0)
110 ~ 119	0.1 (1)	0.2 (1)	0.0 (0)
120 ~ 129	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
130 ~ 139	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
140 ~ 149	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
150 ~ 159	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
160 ~ 169	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
170 ~ 179	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
180 ~ 189	0.1 (1)	0.2 (1)	0.0 (0)
190 ~ 199	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
200IU/L以上	0.1 (1)	0.2 (1)	0.0 (0)
平均値 (IU/L)	18.1	19.9	13.3
標準偏差 (IU/L)	18.4	20.6	9.4

第27表 γ -GTP値の分布（性別）

単位／%（人）

	計	男	女
合 計	100.0 (714)	100.0 (517)	100.0 (197)
10IU/L未満	0.6 (4)	0.2 (1)	1.5 (3)
10 ~ 19	64.6 (461)	56.1 (290)	86.8 (171)
20 ~ 29	26.2 (187)	33.1 (171)	8.1 (16)
30 ~ 39	5.7 (41)	7.2 (37)	2.0 (4)
40 ~ 49	1.5 (11)	1.9 (10)	0.5 (1)
50 ~ 59	0.6 (4)	0.8 (4)	0.0 (0)
60 ~ 69	0.3 (2)	0.2 (1)	0.5 (1)
70 ~ 79	0.3 (2)	0.4 (2)	0.0 (0)
80 ~ 89	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
90 ~ 99	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
100IU/L以上	0.3 (2)	0.2 (1)	0.5 (1)
平均値 (IU/L)	19.5	20.9	15.9
標準偏差 (IU/L)	10.2	10.0	10.0

第28表 トリグリセリド値の分布（性別）

単位／%（人）

	計	男	女
合 計	100.0 (714)	100.0 (517)	100.0 (197)
30mg/dl未満	3.4 (24)	2.7 (14)	5.1 (10)
30 ~ 49	30.4 (217)	28.2 (146)	36.0 (71)
50 ~ 69	31.7 (226)	30.8 (159)	34.0 (67)
70 ~ 89	17.4 (124)	19.5 (101)	11.7 (23)
90 ~ 109	8.7 (62)	9.3 (48)	7.1 (14)
110 ~ 129	4.5 (32)	4.8 (25)	3.6 (7)
130 ~ 149	1.4 (10)	1.5 (8)	1.0 (2)
150 ~ 169	1.0 (7)	1.2 (6)	0.5 (1)
170 ~ 189	0.7 (5)	0.8 (4)	0.5 (1)
190 ~ 209	0.4 (3)	0.4 (2)	0.5 (1)
210 ~ 229	0.1 (1)	0.2 (1)	0.0 (0)
230 ~ 249	0.1 (1)	0.2 (1)	0.0 (0)
250mg/dl以上	0.3 (2)	0.4 (2)	0.0 (0)
平均値 (mg/d l)	66.6	68.8	60.5
標準偏差 (mg/d l)	36.0	38.5	27.7

第29表 総コレステロール値の分布（性別）

単位／%（人）			
	計	男	女
合 計	100.0 (714)	100.0 (517)	100.0 (197)
120mg/dl未満	3.2 (23)	4.1 (21)	1.0 (2)
120 ~ 129	5.7 (41)	7.5 (39)	1.0 (2)
130 ~ 139	12.5 (89)	14.7 (76)	6.6 (13)
140 ~ 149	12.5 (89)	13.7 (71)	9.1 (18)
150 ~ 159	16.8 (120)	16.2 (84)	18.3 (36)
160 ~ 169	14.7 (105)	14.5 (75)	15.2 (30)
170 ~ 179	11.5 (82)	10.8 (56)	13.2 (26)
180 ~ 189	9.1 (65)	7.7 (40)	12.7 (25)
190 ~ 199	5.9 (42)	5.2 (27)	7.6 (15)
200 ~ 209	3.6 (26)	2.3 (12)	7.1 (14)
210 ~ 219	2.1 (15)	1.4 (7)	4.1 (8)
220 ~ 229	1.4 (10)	1.2 (6)	2.0 (4)
230 ~ 239	0.6 (4)	0.4 (2)	1.0 (2)
240 ~ 249	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
250 ~ 259	0.1 (1)	0.0 (0)	0.5 (1)
260 ~ 269	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
270 ~ 279	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
280 ~ 289	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
290 ~ 299	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
300mg/dl以上	0.3 (2)	0.2 (1)	0.5 (1)
平均値 (mg/d l)	161.5	157.2	171.9
標準偏差 (mg/d l)	26.6	26.7	26.1

第30表 HDL-コレステロール値の分布（性別）

単位／%（人）

	計	男	女
合 計	100.0 (714)	100.0 (517)	100.0 (197)
30mg/dl未満	0.1 (1)	0.2 (1)	0.0 (0)
30 ~ 34	0.7 (5)	1.0 (5)	0.0 (0)
35 ~ 39	2.9 (21)	4.1 (21)	0.0 (0)
40 ~ 44	6.0 (43)	7.5 (39)	2.0 (4)
45 ~ 49	11.6 (83)	13.7 (71)	6.1 (12)
50 ~ 54	16.4 (117)	18.2 (94)	11.7 (23)
55 ~ 59	16.7 (119)	18.2 (94)	12.7 (25)
60 ~ 64	14.6 (104)	15.3 (79)	12.7 (25)
65 ~ 69	11.3 (81)	8.1 (42)	19.8 (39)
70 ~ 74	9.4 (67)	7.5 (39)	14.2 (28)
75 ~ 79	4.6 (33)	2.9 (15)	9.1 (18)
80 ~ 84	2.9 (21)	2.1 (11)	5.1 (10)
85 ~ 89	1.3 (9)	0.6 (3)	3.0 (6)
90 ~ 94	0.6 (4)	0.2 (1)	1.5 (3)
95 ~ 99	0.7 (5)	0.2 (1)	2.0 (4)
100mg/dl以上	0.1 (1)	0.2 (1)	0.0 (0)
平均値 (mg/dl)	59.2	56.6	65.6
標準偏差 (mg/dl)	12.1	11.6	11.6

第31表 尿酸値の分布（性別）

単位／%（人）

	計	男	女
合 計	100.0 (714)	100.0 (517)	100.0 (197)
3.0mg/dl未満	2.7 (19)	0.8 (4)	7.6 (15)
3.0 ~ 3.4	2.9 (21)	0.6 (3)	9.1 (18)
3.5 ~ 3.9	7.1 (51)	1.7 (9)	21.3 (42)
4.0 ~ 4.4	7.8 (56)	3.1 (16)	20.3 (40)
4.5 ~ 4.9	14.7 (105)	12.0 (62)	21.8 (43)
5.0 ~ 5.4	18.5 (132)	20.5 (106)	13.2 (26)
5.5 ~ 5.9	15.5 (111)	19.7 (102)	4.6 (9)
6.0 ~ 6.4	12.7 (91)	17.0 (88)	1.5 (3)
6.5 ~ 6.9	8.4 (60)	11.4 (59)	0.5 (1)
7.0 ~ 7.4	4.9 (35)	6.8 (35)	0.0 (0)
7.5 ~ 7.9	2.9 (21)	4.1 (21)	0.0 (0)
8.0 ~ 8.4	0.8 (6)	1.2 (6)	0.0 (0)
8.5 ~ 8.9	0.4 (3)	0.6 (3)	0.0 (0)
9.0 ~ 9.4	0.3 (2)	0.4 (2)	0.0 (0)
9.5 ~ 9.9	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
10mg/dl以上	0.1 (1)	0.2 (1)	0.0 (0)
平均値 (mg/dl)	5.4	5.8	4.2
標準偏差 (mg/dl)	1.2	1.1	0.8

第32表 空腹時血糖値の分布（性別）

単位／%（人）

	計	男	女
合 計	100.0 (714)	100.0 (517)	100.0 (197)
50mg/dl未満	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
50 ~ 59	0.1 (1)	0.2 (1)	0.0 (0)
60 ~ 69	1.8 (13)	1.7 (9)	2.0 (4)
70 ~ 79	13.7 (98)	12.0 (62)	18.3 (36)
80 ~ 89	51.3 (366)	50.7 (262)	52.8 (104)
90 ~ 99	28.0 (200)	29.6 (153)	23.9 (47)
100 ~ 109	4.3 (31)	5.2 (27)	2.0 (4)
110 ~ 120	0.3 (2)	0.4 (2)	0.0 (0)
120mg/dl以上	0.4 (3)	0.2 (1)	1.0 (2)
平均値 (mg/d l)	86.8	87.0	85.8
標準偏差 (mg/d l)	8.1	8.7	8.5

イ. 松岡キャンパス

第33表 身長、体重、BMIの平均値及び標準偏差(性・学年別)

学部・学年		人数 (人)	身長 (cm)		体重 (kg)		B M I (kg/m ²)		
			平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	
男	合計	443	172.0	5.7	65.3	9.4	22.1	2.8	
	医学部	1年	73	172.2	6.6	64.2	9.4	21.6	2.5
		2年	81	171.6	6.0	64.0	8.9	21.7	2.7
		3年	71	171.6	5.7	65.4	9.0	22.2	2.6
		4年	74	172.0	5.4	66.0	10.7	22.3	3.2
		5年	75	171.9	5.2	65.2	9.0	22.1	2.7
		6年	69	172.9	5.1	67.4	9.6	22.6	3.1
女	合計	474	159.1	5.2	51.8	6.2	20.5	2.0	
	医学部	1年	100	158.8	4.6	51.1	6.6	20.2	2.1
		2年	96	158.0	5.6	52.3	6.6	20.9	2.0
		3年	99	159.9	5.5	52.7	5.7	20.6	1.8
		4年	91	159.5	5.4	51.7	5.9	20.4	2.2
		5年	43	159.2	4.7	50.8	5.6	20.0	1.8
		6年	45	159.4	4.5	51.8	6.8	20.4	2.1

第34表 痩せと肥満の割合（性・学年別）

単位／％(人)

学部・学年		総数	痩せ	正常	肥満1度	肥満2度	肥満3度
男 学 部	合 計	100.0 (443)	5.2 (23)	82.8 (367)	10.2 (45)	1.8 (8)	0.0 (0)
	医 1年	100.0 (73)	5.5 (4)	86.3 (63)	8.2 (6)	0.0 (0)	0.0 (0)
	2年	100.0 (81)	9.9 (8)	80.2 (65)	7.4 (6)	2.5 (2)	0.0 (0)
	3年	100.0 (71)	0.0 (0)	91.5 (65)	7.0 (5)	1.4 (1)	0.0 (0)
	4年	100.0 (74)	5.4 (4)	74.3 (55)	17.6 (13)	2.7 (2)	0.0 (0)
	5年	100.0 (75)	4.0 (3)	86.7 (65)	8.0 (6)	1.3 (1)	0.0 (0)
	6年	100.0 (69)	5.8 (4)	78.3 (54)	13.0 (9)	2.9 (2)	0.0 (0)
女 学 部	合 計	100.0 (474)	13.5 (64)	84.4 (400)	2.1 (10)	0.0 (0)	0.0 (0)
	医 1年	100.0 (100)	19.0 (19)	78.0 (78)	3.0 (3)	0.0 (0)	0.0 (0)
	2年	100.0 (96)	8.3 (8)	90.6 (87)	1.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)
	3年	100.0 (99)	11.1 (11)	87.9 (87)	1.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)
	4年	100.0 (91)	15.4 (14)	81.3 (74)	3.3 (3)	0.0 (0)	0.0 (0)
	5年	100.0 (43)	18.6 (8)	81.4 (35)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
	6年	100.0 (45)	8.9 (4)	86.7 (39)	4.4 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)

* BMI (kg/m²)による肥満の分類（日本肥満学会、2000年）

瘦 せ：BMI 18.5 未満

正 常：BMI 18.5 以上 25未満

肥満1度：BMI 25 以上 30未満

肥満2度：BMI 30 以上 35未満

肥満3度：BMI 35 以上 40未満

肥満4度：BMI 40

第35表 血圧*の状況(性、学年別)

単位/%(人)

学部・学年		総数	至適血圧	正常血圧	高値正常血圧	高血圧	
男	合計	100.0 (440)	38.4 (169)	34.1 (150)	22.0 (97)	5.5 (24)	
	医学部	1年	100.0 (71)	38.0 (27)	32.4 (23)	21.1 (15)	8.5 (6)
		2年	100.0 (81)	44.4 (36)	33.3 (27)	19.8 (16)	2.5 (2)
		3年	100.0 (70)	32.9 (23)	45.7 (32)	18.6 (13)	2.9 (2)
		4年	100.0 (74)	39.2 (29)	31.1 (23)	23.0 (17)	6.8 (5)
		5年	100.0 (75)	40.0 (30)	32.0 (24)	24.0 (18)	4.0 (3)
		6年	100.0 (69)	34.8 (24)	30.4 (21)	26.1 (18)	8.7 (6)
女	合計	100.0 (472)	74.8 (353)	18.2 (86)	6.1 (29)	0.8 (4)	
	医学部	1年	100.0 (100)	72.0 (72)	19.0 (19)	8.0 (8)	1.0 (1)
		2年	100.0 (96)	69.8 (67)	27.1 (26)	3.1 (3)	0.0 (0)
		3年	100.0 (98)	79.6 (78)	11.2 (11)	8.2 (8)	1.0 (1)
		4年	100.0 (91)	82.4 (75)	12.1 (11)	5.5 (5)	0.0 (0)
		5年	100.0 (42)	76.2 (32)	21.4 (9)	0.0 (0)	2.4 (1)
		6年	100.0 (45)	64.4 (29)	22.2 (10)	11.1 (5)	2.2 (1)

血圧* : 血圧(mmHg)分類(高血圧治療ガイドライン2009.厚生労働省)

至適血圧: 収縮期血圧120未満かつ拡張期血圧80未満

正常血圧: 収縮期血圧130未満かつ拡張期血圧85未満

高値正常血圧: 収縮期血圧130~139または拡張期血圧85~89

高血圧: 収縮期血圧140以上または拡張期血圧90以上

収縮期血圧と拡張期血圧が異なる分類に属する場合は、高い方の分類に組み入れる。

第36表 尿検査の状況(性・学年別)

単位/％(人)

学部・学年		総数	正常	蛋白陽性	糖偽陽性	糖陽性	潜血陽性
男 医 学 部	合計	100.0 (427)	94.1 (402)	4.2 (18)	0.9 (4)	0.5 (2)	0.2 (1)
	1年	100.0 (73)	89.0 (65)	9.6 (7)	0.0 (0)	1.4 (1)	0.0 (0)
	2年	100.0 (75)	89.3 (67)	6.7 (5)	2.7 (2)	0.0 (0)	1.3 (1)
	3年	100.0 (69)	95.7 (66)	4.3 (3)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
	4年	100.0 (69)	97.1 (67)	1.4 (1)	0.0 (0)	1.4 (1)	0.0 (0)
	5年	100.0 (74)	97.3 (72)	1.4 (1)	1.4 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)
	6年	100.0 (67)	97.0 (65)	1.5 (1)	1.5 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)
女 医 学 部	合計	100.0 (457)	91.9 (420)	3.9 (18)	0.2 (1)	0.7 (3)	3.3 (15)
	1年	100.0 (100)	89.0 (89)	4.0 (4)	0.0 (0)	2.0 (2)	5.0 (5)
	2年	100.0 (90)	93.3 (84)	2.2 (2)	0.0 (0)	1.1 (1)	3.3 (3)
	3年	100.0 (97)	96.9 (94)	2.1 (2)	0.0 (0)	0.0 (0)	1.0 (1)
	4年	100.0 (84)	91.7 (77)	3.6 (3)	1.2 (1)	0.0 (0)	3.6 (3)
	5年	100.0 (43)	88.4 (38)	7.0 (3)	0.0 (0)	0.0 (0)	4.7 (2)
	6年	100.0 (43)	88.4 (38)	9.3 (4)	0.0 (0)	0.0 (0)	2.3 (1)

※2項目の陽性があるため、割合の合計は100%を超える。

第37表 胸部X線検査の状況（性・学年別）

単位／％(人)

学部・学年		総数	正常	肺陰影	心血管陰影	その他	
男	合計	100.0 (445)	97.3 (433)	0.2 (1)	1.3 (6)	1.1 (5)	
	医学部	1年	100.0 (73)	97.3 (71)	1.4 (1)	0.0 (0)	1.4 (1)
		2年	100.0 (81)	95.1 (77)	0.0 (0)	4.9 (4)	0.0 (0)
		3年	100.0 (73)	95.9 (70)	0.0 (0)	0.0 (0)	4.1 (3)
		4年	100.0 (74)	100.0 (74)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
		5年	100.0 (75)	96.0 (72)	0.0 (0)	2.7 (2)	1.3 (1)
		6年	100.0 (69)	100.0 (69)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
女	合計	100.0 (474)	100.0 (474)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	
	医学部	1年	100.0 (100)	100.0 (100)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
		2年	100.0 (96)	100.0 (96)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
		3年	100.0 (99)	100.0 (99)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
		4年	100.0 (91)	100.0 (91)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
		5年	100.0 (43)	100.0 (43)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
		6年	100.0 (45)	100.0 (45)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)

第38表 血液検査の平均値と標準偏差（性別）

検査項目	男			女			単位
	人数 (人)	平均値	標準偏差	人数 (人)	平均値	標準偏差	
白血球	73	6.3	1.3	100	6.4	1.4	千個/mm ³
赤血球	73	524.9	40.9	100	457.3	29.9	万個/mm ³
血色素	73	15.7	1.3	100	13.2	1.0	g/dl
ヘマトクリット	73	46.6	3.5	100	39.9	2.3	%
血小板	73	23.5	5.3	100	26.9	6.2	万個/mm ³
AST	73	22.4	7.5	100	17.5	4.0	IU/L
ALT	73	19.4	9.9	100	11.9	4.1	IU/L
γ-GTP	73	20.7	8.8	100	15.3	6.0	IU/L
トリグリセリド	73	71.0	59.0	100	73.1	52.3	mg/dl
総コレステロール	73	159.2	27.0	100	169.8	29.0	mg/dl
HDLコレステロール	73	57.9	12.3	100	67.6	12.8	mg/dl
尿酸	73	6.1	1.3	100	4.2	0.7	mg/dl
血糖	73	85.0	7.3	100	84.3	8.6	mg/dl
HbA1c	73	5.0	0.2	100	5.0	0.2	%
総蛋白	73	7.3	0.3	100	7.4	0.3	g/dl
アルブミン	73	4.6	0.2	100	4.6	0.2	g/dl

第43表 血小板数の分布（性別）

単位／％(人)

	計		男		女	
合 計	100.0	(173)	100.0	(73)	100.0	(100)
10.0 万個／mm ³ 未満	0.6	(1)	0.0	(0)	1.0	(1)
10.0～ 11.9	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
12.0～ 13.9	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
14.0～ 15.9	1.7	(3)	1.4	(1)	2.0	(2)
16.0～ 17.9	4.0	(7)	8.2	(6)	1.0	(1)
18.0～ 19.9	9.2	(16)	13.7	(10)	6.0	(6)
20.0～ 21.9	13.9	(24)	17.8	(13)	11.0	(11)
22.0～ 23.9	13.9	(24)	16.4	(12)	12.0	(12)
24.0～ 25.9	14.5	(25)	19.2	(14)	11.0	(11)
26.0～ 27.9	13.3	(23)	8.2	(6)	17.0	(17)
28.0～ 29.9	8.7	(15)	5.5	(4)	11.0	(11)
30.0～ 31.9	6.4	(11)	2.7	(2)	9.0	(9)
32.0～ 33.9	5.8	(10)	4.1	(3)	7.0	(7)
34.0～ 35.9	2.9	(5)	2.7	(2)	3.0	(3)
36.0～ 37.9	1.7	(3)	0.0	(0)	3.0	(3)
38.0～ 39.9	1.7	(3)	0.0	(0)	3.0	(3)
40.0万個／mm ³ 以上	1.7	(3)	0.0	(0)	3.0	(3)
平均値 (万個／mm ³)	25.4		23.5		26.9	
標準偏差 (万個／mm ³)	5.8		5.3		6.2	

第39表 白血球数の分布（性別）

単位／％(人)

	計		男		女	
合 計	100.0	(173)	100.0	(73)	100.0	(100)
2.0千個／mm ³ 未満	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
2.0～ 2.9	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
3.0～ 3.9	2.3	(4)	0.0	(0)	4.0	(4)
4.0～ 4.9	13.9	(24)	16.4	(12)	12.0	(12)
5.0～ 5.9	27.2	(47)	31.5	(23)	24.0	(24)
6.0～ 6.9	25.4	(44)	23.3	(17)	27.0	(27)
7.0～ 7.9	19.1	(33)	19.2	(14)	19.0	(19)
8.0～ 8.9	8.7	(15)	6.8	(5)	10.0	(10)
9.0～ 9.9	2.9	(5)	2.7	(2)	3.0	(3)
10.0～10.9	0.6	(1)	0.0	(0)	1.0	(1)
11.0～11.9	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
12.0千個／mm ³ 以上	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
平均值 (千個／mm ³)	6.3		6.3		6.4	
標準偏差 (千個／mm ³)	1.3		1.3		1.4	

第40表 赤血球数の分布（性別）

単位／％(人)

	計		男		女	
合計	100.0	(173)	100.0	(73)	100.0	(100)
380万個／mm ³ 未満	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
380～ 399	1.7	(3)	0.0	(0)	3.0	(3)
400～ 419	3.5	(6)	0.0	(0)	6.0	(6)
420～ 439	11.6	(20)	0.0	(0)	20.0	(20)
440～ 459	13.3	(23)	0.0	(0)	23.0	(23)
460～ 479	18.5	(32)	4.1	(3)	29.0	(29)
480～ 499	12.7	(22)	15.1	(11)	11.0	(11)
500～ 519	12.1	(21)	21.9	(16)	5.0	(5)
520～ 539	13.9	(24)	30.1	(22)	2.0	(2)
540～ 559	6.9	(12)	15.1	(11)	1.0	(1)
560～ 579	4.6	(8)	11.0	(8)	0.0	(0)
580～ 599	1.2	(2)	2.7	(2)	0.0	(0)
600万個／mm ³ 以上	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
	平均値 (万個／mm ³)		524.9		457.3	
	標準偏差 (万個／mm ³)		40.9		29.9	

第41表 血色素量の分布（性別）

単位／％（人）

	計		男		女	
合 計	100.0	(173)	100.0	(73)	100.0	(100)
8.0 g/dl未満	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
8.0～ 8.9	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
9.0～ 9.9	0.6	(1)	0.0	(0)	1.0	(1)
10.0～ 10.9	2.3	(4)	0.0	(0)	4.0	(4)
11.0～ 11.9	3.5	(6)	0.0	(0)	6.0	(6)
12.0～ 12.9	12.7	(22)	0.0	(0)	22.0	(22)
13.0～ 13.9	27.2	(47)	0.0	(0)	47.0	(47)
14.0～ 14.9	19.1	(33)	17.8	(13)	20.0	(20)
15.0～ 15.9	18.5	(32)	43.8	(32)	0.0	(0)
16.0～ 16.9	13.9	(24)	32.9	(24)	0.0	(0)
17.0～ 17.9	2.3	(4)	5.5	(4)	0.0	(0)
18.0 g/dl 以上	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
平均値 (g/dl)	14.2		15.7		13.2	
標準偏差 (g/dl)	1.6		1.3		1.0	

第42表 ヘマトクリット値の分布（性別）

単位／％(人)

	計		男		女	
合 計	100.0	(173)	100.0	(73)	100.0	(100)
30.0 %未満	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
30.0～ 30.9	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
31.0～ 31.9	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
32.0～ 32.9	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
33.0～ 33.9	0.6	(1)	0.0	(0)	1.0	(1)
34.0～ 34.9	1.7	(3)	0.0	(0)	3.0	(3)
35.0～ 35.9	1.7	(3)	0.0	(0)	3.0	(3)
36.0～ 36.9	2.3	(4)	0.0	(0)	4.0	(4)
37.0～ 37.9	6.4	(11)	0.0	(0)	11.0	(11)
38.0～ 38.9	4.0	(7)	0.0	(0)	7.0	(7)
39.0～ 39.9	10.4	(18)	0.0	(0)	18.0	(18)
40.0～ 40.9	10.4	(18)	0.0	(0)	18.0	(18)
41.0～ 41.9	9.8	(17)	0.0	(0)	17.0	(17)
42.0～ 42.9	6.4	(11)	4.1	(3)	8.0	(8)
43.0～ 43.9	9.2	(16)	8.2	(6)	10.0	(10)
44.0～ 44.9	4.0	(7)	9.6	(7)	0.0	(0)
45.0～ 45.9	9.2	(16)	21.9	(16)	0.0	(0)
46.0～ 46.9	5.8	(10)	13.7	(10)	0.0	(0)
47.0～ 47.9	7.5	(13)	17.8	(13)	0.0	(0)
48.0～ 48.9	4.6	(8)	11.0	(8)	0.0	(0)
49.0～ 49.9	2.3	(4)	5.5	(4)	0.0	(0)
50.0 %以上	3.5	(6)	8.2	(6)	0.0	(0)
平均値 (%)	42.7		46.6		39.9	
標準偏差 (%)	4.0		3.5		2.3	

第48表 総コレステロール値の分布（性別）

単位／％(人)

	計		男		女	
合 計	100.0	(173)	100.0	(73)	100.0	(100)
120 mg/dl未満	1.7	(3)	1.4	(1)	2.0	(2)
120～129	5.2	(9)	8.2	(6)	3.0	(3)
130～139	8.1	(14)	9.6	(7)	7.0	(7)
140～149	15.0	(26)	16.4	(12)	14.0	(14)
150～159	16.8	(29)	23.3	(17)	12.0	(12)
160～169	10.4	(18)	9.6	(7)	11.0	(11)
170～179	15.6	(27)	17.8	(13)	14.0	(14)
180～189	11.6	(20)	4.1	(3)	17.0	(17)
190～199	5.8	(10)	5.5	(4)	6.0	(6)
200～209	6.9	(12)	1.4	(1)	11.0	(11)
210～219	1.7	(3)	1.4	(1)	2.0	(2)
220～229	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
230～239	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
240～249	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
250～259	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
260～269	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
270～279	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
280～289	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
290～299	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
300mg/dl以上	1.2	(2)	1.4	(1)	1.0	(1)
平均値 (mg/dl)	165.3		159.2		169.8	
標準偏差 (mg/dl)	28.8		27.0		29.0	

第44表 AST値の分布（性別）

単位／％(人)

	計		男		女	
合 計	100.0	(173)	100.0	(73)	100.0	(100)
10 IU/L未満	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
10～ 19	64.2	(111)	43.8	(32)	79.0	(79)
20～ 29	29.5	(51)	42.5	(31)	20.0	(20)
30～ 39	5.2	(9)	12.3	(9)	0.0	(0)
40～ 49	0.6	(1)	0.0	(0)	1.0	(1)
50～ 59	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
60～ 69	0.6	(1)	1.4	(1)	0.0	(0)
70～ 79	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
80～ 89	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
90～ 99	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
100～ 109	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
110～ 119	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
120～ 129	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
130～ 139	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
140～ 149	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
150～ 159	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
160～ 169	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
170～ 179	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
180～ 189	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
190～ 199	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
200 IU/L以上	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
平均値 (IU/L)	19.6		22.4		17.5	
標準偏差 (IU/L)	6.3		7.5		4.0	

第45表 ALT値の分布（性別）

単位／％(人)

	計		男		女	
合計	100.0	(173)	100.0	(73)	100.0	(100)
10 IU/L未満	20.8	(36)	2.7	(2)	34.0	(34)
10～ 19	63.6	(110)	65.8	(48)	62.0	(62)
20～ 29	12.1	(21)	23.3	(17)	4.0	(4)
30～ 39	1.7	(3)	4.1	(3)	0.0	(0)
40～ 49	1.2	(2)	2.7	(2)	0.0	(0)
50～ 59	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
60～ 69	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
70～ 79	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
80～ 89	0.6	(1)	1.4	(1)	0.0	(0)
90～ 99	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
100～ 109	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
110～ 119	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
120～ 129	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
130～ 139	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
140～ 149	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
150～ 159	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
160～ 169	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
170～ 179	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
180～ 189	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
190～ 199	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
200 IU/L以上	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
平均值 (IU/L)	15.1		19.4		11.9	
標準偏差 (IU/L)	8.4		9.9		4.1	

第46表 γ -GTP値の分布（性別）

単位／％(人)

	計	男	女
合計	100.0 (173)	100.0 (73)	100.0 (100)
10 IU/L未満	3.5 (6)	2.7 (2)	4.0 (4)
10～19	72.3 (125)	57.5 (42)	83.0 (83)
20～29	16.2 (28)	24.7 (18)	10.0 (10)
30～39	4.6 (8)	9.6 (7)	1.0 (1)
40～49	2.3 (4)	4.1 (3)	1.0 (1)
50～59	0.6 (1)	0.0 (0)	1.0 (1)
60～69	0.6 (1)	1.4 (1)	0.0 (0)
70～79	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
80～89	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
90～99	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
100 IU/L以上	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
平均値 (IU/L)	17.5	20.7	15.3
標準偏差 (IU/L)	8.2	8.8	6.0

第47表 トリグリセリド値の分布（性別）

単位／％(人)

	計	男	女
合計	100.0 (173)	100.0 (73)	100.0 (100)
30 mg/dl未満	4.0 (7)	2.7 (2)	5.0 (5)
30～49	29.5 (51)	24.7 (18)	33.0 (33)
50～69	28.3 (49)	39.7 (29)	20.0 (20)
70～89	20.8 (36)	19.2 (14)	22.0 (22)
90～109	8.1 (14)	4.1 (3)	11.0 (11)
110～129	2.3 (4)	1.4 (1)	3.0 (3)
130～149	1.2 (2)	2.7 (2)	0.0 (0)
150～169	1.7 (3)	2.7 (2)	1.0 (1)
170～189	1.7 (3)	1.4 (1)	2.0 (2)
190～209	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
210～229	0.6 (1)	0.0 (0)	1.0 (1)
230～249	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)
250 mg/dl以上	1.7 (3)	1.4 (1)	2.0 (2)
平均値 (mg/dl)	72.2	71.0	73.1
標準偏差 (mg/dl)	52.6	59.0	52.3

第49表 HDL-コレステロール値の分布（性別）

単位／%（人）

	計		男		女	
合 計	100.0	(173)	100.0	(73)	100.0	(100)
30 mg/dl未満	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
30～ 34	0.6	(1)	1.4	(1)	0.0	(0)
35～ 39	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
40～ 44	1.7	(3)	2.7	(2)	1.0	(1)
45～ 49	9.8	(17)	15.1	(11)	6.0	(6)
50～ 54	14.5	(25)	20.5	(15)	10.0	(10)
55～ 59	17.9	(31)	24.7	(18)	13.0	(13)
60～ 64	13.9	(24)	15.1	(11)	13.0	(13)
65～ 69	10.4	(18)	5.5	(4)	14.0	(14)
70～ 74	11.6	(20)	6.8	(5)	15.0	(15)
75～ 79	8.7	(15)	5.5	(4)	11.0	(11)
80～ 84	2.9	(5)	0.0	(0)	5.0	(5)
85～ 89	3.5	(6)	1.4	(1)	5.0	(5)
90～ 94	2.9	(5)	1.4	(1)	4.0	(4)
95～ 99	1.7	(3)	0.0	(0)	3.0	(3)
100mg/dl以上	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
平均値 (mg/dl)	63.5		57.9		67.6	
標準偏差 (mg/dl)	12.9		12.3		12.8	

第50表 尿酸値の分布（性別）

単位／%（人）

	計		男		女	
合 計	100.0	(173)	100.0	(73)	100.0	(100)
2.0 mg/dl未満	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
2.0～ 2.4	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
2.5～ 2.9	1.2	(2)	0.0	(0)	2.0	(2)
3.0～ 3.4	8.1	(14)	0.0	(0)	14.0	(14)
3.5～ 3.9	13.9	(24)	0.0	(0)	24.0	(24)
4.0～ 4.4	13.3	(23)	4.1	(3)	20.0	(20)
4.5～ 4.9	17.3	(30)	6.8	(5)	25.0	(25)
5.0～ 5.4	12.1	(21)	13.7	(10)	11.0	(11)
5.5～ 5.9	8.1	(14)	15.1	(11)	3.0	(3)
6.0～ 6.4	9.8	(17)	23.3	(17)	0.0	(0)
6.5～ 6.9	5.8	(10)	13.7	(10)	0.0	(0)
7.0～ 7.4	8.1	(14)	17.8	(13)	1.0	(1)
7.5～ 7.9	1.7	(3)	4.1	(3)	0.0	(0)
8.0～ 8.4	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
8.5～ 8.9	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
9.0～ 9.4	0.6	(1)	1.4	(1)	0.0	(0)
9.5～ 9.9	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
10.0mg/dl以上	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
平均値 (mg/dl)	5.0		6.1		4.2	
標準偏差	1.3		1.3		0.7	

第51表 血糖値の分布（性別）

単位／%（人）

	計		男		女	
合計	100.0	(173)	100.0	(73)	100.0	(100)
50 mg/dl未満	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
50～59	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
60～69	0.6	(1)	1.4	(1)	0.0	(0)
70～79	27.7	(48)	19.2	(14)	34.0	(34)
80～89	50.3	(87)	54.8	(40)	47.0	(47)
90～99	16.2	(28)	21.9	(16)	12.0	(12)
100～109	3.5	(6)	1.4	(1)	5.0	(5)
110～119	1.7	(3)	1.4	(1)	2.0	(2)
120～129	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
130～139	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
140～149	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
150 mg/dl以上	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
平均値 (mg/dl)	84.6		85.0		84.3	
標準偏差 (mg/dl)	8.1		7.3		8.6	

第52表 HbA1c の分布（性別）

単位／%（人）

	計		男		女	
合 計	100.0	(173)	100.0	(73)	100.0	(100)
3.0 %未満	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
3.0～3.4	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
3.5～3.9	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
4.0～4.4	0.6	(1)	0.0	(0)	1.0	(1)
4.5～4.9	28.3	(49)	30.1	(22)	27.0	(27)
5.0～5.4	68.8	(119)	69.9	(51)	68.0	(68)
5.5～5.9	2.3	(4)	0.0	(0)	4.0	(4)
6.0 %以上	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
平均値 (mg/dl)	5.0		5.0		5.0	
標準偏差 (mg/dl)	0.2		0.2		0.2	

第53表 総蛋白の分布（性別）

単位／%（人）

	計		男		女	
合計	100.0	(173)	100.0	(73)	100.0	(100)
6.5 g/dl未満	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
6.5～6.9	9.2	(16)	13.7	(10)	6.0	(6)
7.0～7.4	54.9	(95)	56.2	(41)	54.0	(54)
7.5～7.9	31.8	(55)	26.0	(19)	36.0	(36)
8.0～8.4	4.0	(7)	4.1	(3)	4.0	(4)
8.5～8.9	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
9.0 g/dl以上	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
平均値 (g/dl)	7.3		7.3		7.4	
標準偏差 (g/dl)	0.3		0.3		0.3	

第54表 アルブミンの分布（性別）

単位／%（人）

	計		男		女	
合計	100.0	(173)	100.0	(73)	100.0	(100)
4.0 g/dl未満	0.6	(1)	0.0	(0)	1.0	(1)
4.0～4.4	16.2	(28)	16.4	(12)	16.0	(16)
4.5～4.9	76.9	(133)	79.5	(58)	75.0	(75)
5.0～5.4	6.4	(11)	4.1	(3)	8.0	(8)
5.5～5.9	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
6.0 g/dl以上	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
平均値 (g/dl)	4.6		4.6		4.6	
標準偏差 (g/dl)	0.2		0.2		0.2	

Ⅱ 保健管理センター利用状況

1. 平成28年度保健管理センター利用状況(学生)

月 処 別	ア. 文京キャンパス (対応内容)														単位/実数(件)												
	投 薬	静 養	体 温 測 定	血 圧 測 定	血 探	尿 検 査	心 電 図 検 査	他 医 療 機 関 紹 介	医 療 機 関 搬 送	紹 介 状 の 記 載	内 科 医 師 診 察	看 護 師 相 談	カ ウ ン セ リ ン グ	婦 人 科 相 談	精 神 科 相 談	整 形 外 科 相 談	視 力 測 定	握 力 測 定	マ ッ サ ー ジ チ ェ ア 使 用	肺 活 量 測 定	ト レ ー ニ ン グ 機 器 の 使 用	身 長 ・ 体 重 測 定	証 明 書 発 行	健 康 診 断 結 果 書 発 行	そ の 他	計	
4	16	2	29	13	5	2	242	28	2	0	13	28	12	0	5	18	0	1	0	0	0	0	3	0	55	18	492
5	16	6	8	4	9	3	65	2	12	0	60	86	20	4	24	1	0	1	1	0	0	9	557	170	21	1,079	
6	13	7	16	11	3	0	3	0	4	1	12	4	29	2	50	0	0	2	2	0	1	17	387	162	22	746	
7	21	6	19	0	2	0	1	10	3	0	4	15	6	0	30	0	1	0	0	0	0	19	155	24	8	324	
8	6	3	2	2	0	0	0	0	3	0	7	0	11	0	26	0	0	0	0	0	0	9	79	22	4	174	
9	8	4	4	0	4	0	0	0	2	0	1	3	12	0	25	0	0	0	0	0	1	6	68	37	3	178	
10	16	8	16	17	2	0	0	1	3	0	8	2	17	2	22	0	0	0	0	0	0	26	30	54	10	238	
11	15	10	11	8	3	12	0	2	4	0	9	6	10	1	36	0	0	0	0	0	0	21	240	34	21	445	
12	7	7	9	10	2	0	0	0	5	0	0	3	5	1	34	0	0	0	0	0	0	13	26	32	8	163	
1	8	3	13	7	1	0	1	0	4	0	2	1	11	0	22	0	0	0	0	0	0	12	14	23	12	135	
2	6	2	14	3	1	0	0	0	3	0	2	0	12	1	16	0	0	2	2	0	0	0	32	94	10	198	
3	3	1	2	6	0	0	0	0	2	0	4	1	4	0	15	0	0	0	0	0	0	2	42	598	9	689	
合計	135	59	143	81	32	17	312	43	47	1	122	149	149	5	19	318	1	2	1	5	0	137	1,630	1,305	146	4,861	

学生

イ. 松岡キャンパス(対応内容)

月別	処置	投薬	静養	体温測定	血圧測定	採血	尿検査	心電図検査	他医療機関紹介	医療機関搬送	紹介状の記載	内科医師診察	歯科口腔外科診察	看護師相談	カウンセリング	婦人科相談	精神科相談	整形外科相談	視力測定	握力測定	マッサージチェア使用	肺活量測定	トレーニング機器の使用	身長・体重測定	証明書発行	健康診断結果書発行	健康診断書発行	合計
4	4	4	3	5	1	0	0	0	15	0	13	0	0	18	11	0	0	0	2	0				7	31		0	114
5	1	0	0	3	0	0	6	0	21	1	21	4	0	20	27	0	0	1	4	0				9	135		0	253
6	7	6	1	4	3	5	3	17	20	0	19	3	29	25	45	0	2	2	2	0				3	45		0	241
7	3	1	0	3	8	1	10	23	12	0	11	8	0	12	31	0	0	0	1	0				2	50		0	176
8	0	0	0	2	0	0	0	0	9	0	8	2	0	14	44	0	1	0	0	0				3	39		0	122
9	1	0	1	3	0	0	0	0	6	0	5	3	0	8	31	0	2	1	0	0				2	0		0	63
10	4	1	0	4	0	0	0	0	13	0	12	3	0	24	30	0	0	0	0	0				5	10		0	106
11	1	2	0	7	0	0	0	0	19	0	13	1	0	18	35	0	1	0	1	0				5	9		0	112
12	2	1	1	0	2	3	0	0	6	0	5	0	0	23	37	1	2	0	1	0				0	2		0	86
1	2	1	1	6	0	7	0	0	16	0	14	0	0	10	36	0	0	0	0	0				4	3		0	100
2	1	0	1	2	2	2	0	0	5	0	6	0	0	18	52	0	1	0	0	0				1	29		0	120
3	2	1	1	4	1	0	0	0	14	0	10	0	0	13	51	0	1	0	0	0				2	8		0	108
合計	28	17	9	43	17	18	19	40	156	1	137	24	29	203	430	1	10	4	11	0				43	361		0	1601

2. 平成28年度保健管理センター利用状況(職員)

ア. 文京キャンパス(対応内容)

月別	単位/実数(件)																	計											
	処置	投薬	静養	体温測定	血圧測定	採血	尿検査	心電図検査	他医療機関紹介	医療機関搬送	紹介状の記載	内科医師診察	看護師相談	カウンセリング	婦人科相談	精神科相談	整形外科相談		視力測定	握力測定	マッサージ/エア使用	肺活量測定	トレーニング機器の使用	身長・体重測定	証明書発行	健康診断結果書発行	その他		
4	1	7	2	1	14	0	0	1	0	0	1	4	5	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	3	44
5	1	6	1	2	8	0	0	0	0	0	0	2	6	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	10	45	
6	8	3	2	1	21	0	1	0	2	0	5	9	12	0	3	3	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	13	87	
7	3	9	6	6	9	0	0	0	0	0	1	7	7	0	0	3	0	0	0	0	0	0	2	0	0	560	19	632	
8	4	9	11	4	12	0	15	2	0	0	3	9	29	0	0	6	0	0	0	1	0	0	3	2	0	15	126		
9	7	5	2	2	6	0	1	0	0	0	3	7	9	0	4	0	0	0	0	1	0	0	3	1	0	7	58		
10	6	4	15	3	6	0	0	2	0	0	0	7	5	0	3	0	0	0	0	0	0	0	5	1	0	10	67		
11	6	10	25	6	15	0	0	0	5	0	2	19	8	0	4	0	0	0	5	0	0	0	4	0	0	14	123		
12	5	10	25	2	6	0	0	1	1	0	4	14	3	0	6	0	0	0	1	0	0	0	2	1	0	10	91		
1	0	5	22	2	2	0	1	0	0	0	1	6	5	0	12	0	0	0	0	0	0	0	3	1	44	4	108		
2	3	10	23	2	3	0	0	0	1	0	0	3	2	0	8	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	5	63		
3	7	7	36	3	3	0	0	0	2	0	1	12	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	82		
合計	51	85	170	34	105	0	18	6	11	0	21	99	95	0	3	62	0	0	0	9	0	1	34	7	604	111	1,526		

職員

イ. 松岡キャンパス(対応内容)

月別	処置	投薬	静養	体温測定	血圧測定	採血	尿検査	心電図検査	他医療機関紹介	医療機関搬送	紹介状の記載	内科医師診察	看護師相談	カウンセリング	婦人科相談	精神科相談	整形外科相談	視力測定	握力測定	マッサージチェア使用	肺活量測定	トレーニング機器の使用	身長・体重測定	単位/実数(件)		合計	
																								健康診断結果書発行	健康診断書発行		
4	1	3	19	3	0	0	0	0	3	0	2	0	9	12	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8	0	0	61
5	0	1	15	5	0	0	0	0	4	0	4	0	5	10	0	0	0	0	0	0	0	0	1	10	0	0	55
6	1	2	17	1	2	0	0	0	2	0	2	0	18	10	0	0	0	2	0	0	0	0	3	24	0	0	84
7	0	1	21	3	4	0	0	0	2	0	2	0	7	6	0	0	0	1	0	0	0	0	1	8	0	0	56
8	3	1	19	0	3	0	0	0	1	0	1	0	5	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	1843	1915
9	3	4	18	0	3	0	0	0	7	0	7	0	2	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	41	117
10	0	2	19	4	6	0	0	0	3	0	3	0	10	12	0	0	0	1	0	0	0	0	1	7	0	0	68
11	0	0	18	3	1	0	0	0	16	0	15	0	8	11	0	0	0	1	0	0	0	0	2	24	208	307	
12	1	3	15	1	2	0	0	0	13	0	11	0	7	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	72
1	1	2	19	1	2	0	0	0	14	0	14	0	3	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	38	106
2	1	4	19	1	4	0	0	0	6	0	6	0	2	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	63
3	0	2	20	2	1	0	0	0	6	0	6	0	5	15	0	0	0	0	0	0	0	0	1	30	0	0	88
合計	11	25	219	24	28	0	0	0	77	0	73	0	81	134	1	0	0	5	0	0	0	0	10	174	2130	2992	

3. 平成 28 年度福井大学保健管理センター利用状況（心理相談）

ア. 文京キャンパス

平成 28 年度から高橋哲也が精神科医として保健管理センターに着任し、学生および教職員の精神面における相談を担当している。まず高橋が着任する平成 28 年度以前の保健管理センターの歴史を概観する。

平成 15 年度から平成 27 年度までの 13 年間は前任の細田憲一先生が心理士として学生・職員の心理相談を担当された。着任された平成 15 年度より、工学部の留年率の高さや休退学者数および自殺者の多さを背景に、工学部教職員を対象とした FD 研修会やメンタルヘルス講演会を積極的に実施された。その結果、学生の相談者数は順調に増加し、さらに学生支援に関わる教員・職員からのコンサルテーションも増えた。平成 16 年からは非常勤カウンセラーの安岡恵子先生が発達を中心とする学生への対応を担っている。増加する相談件数から、平成 21 年には念願であった非常勤カウンセラー（山本桃花子先生）が増員となり、3 人体制となった。平成 22 年には産休に入った山本先生に代わり、諸江理映子先生が加わった。

学生および職員の精神的サポートの場としてのセンター機能が拡充される中、平成 22 年度には自殺者が 6 名と大きく増加した。その対応から急遽、平成 23 年 12 月より学生総合相談室が立ち上がり、安岡先生と諸江先生が常勤カウンセラーとして着任し、事務スタッフ 2 人と合わせて 4 人体制で稼働し始めた。学生総合相談室には、成績・出席などの修学や人間関係の問題、さらに就職活動時における不安定な状態を早期に把握し、介入する役割が期待された。メンタルヘルスへの早期介入と自殺予防の試みとして導入されたのが定期健康診断時や履修登録時に行う心の健康アンケートである。具体的には、保健管理センターでは「死にたくなることがある」をチェックした学生全員の、また学生総合相談室では、履修登録が必要となる学部および大学院の学生を対象として、「困っていることや心配事がある」「死にたくなることがある」などにチェックした学生の呼び出し面談を行った。この試みは、修学の問題や人間関係、就職での悩み情報を早い段階でキャッチすることで、メンタルヘルスの問題に発展することを未然に防ぐ役割を果たしてきた。翌年からその効果は如実に表れ、徐々に自殺学生は減少し、平成 28 年度は 0 名であった。学生の呼び出しに当たっては保健管理センターの看護師また学生総合相談室のスタッフが総出となって行っている。平成 15 年から 13 年間に渡り、学生・職員の健康支援に携われた細田先生のご尽力無くしてこの学生支援体制の構築は成し得ない。

平成 28 年度は、高橋が細田先生後を継いで担当する最初の年度であり、精神科医 1 人（高橋）、カウンセラー 2 人（安岡・諸江）の 3 人体制で臨んだ。常勤の精神科医が加わった利点を生かし、保健管理センターと学生総合相談室の住み分けを意識した組織を目指した。修学や人間関係などのカウ

セリングは学生総合相談室で、精神科的問題点が懸念される場合には保健管理センターでの面接を行い、必要に応じて継続的な面談および医療機関に繋ぐ流れを作った。学生との精神科的面談を通じて感じることもある。まず相談内容の多くは日常生活での“困りごと”だが、その背景には診断域値以下の精神科的問題を抱えていることが少なくない。これは大学保健管理センターに特有の現象であり、精神疾患への早期介入の大きな手掛かりになると言える。また多くの学生は自身が有する発達障害や気分障害傾向などの精神科的問題点を自覚していないことも重要な点であり、改めて青年期におけるメンタルヘルスの重要性を啓蒙する必要がある。さらに職員、教員側への啓蒙活動をFD・SD研修会を通じて積極的に行い、精神疾患の特徴を理解することで諸症状の顕在化をつぶさに捉えるシステム作りの必要性を痛感している。

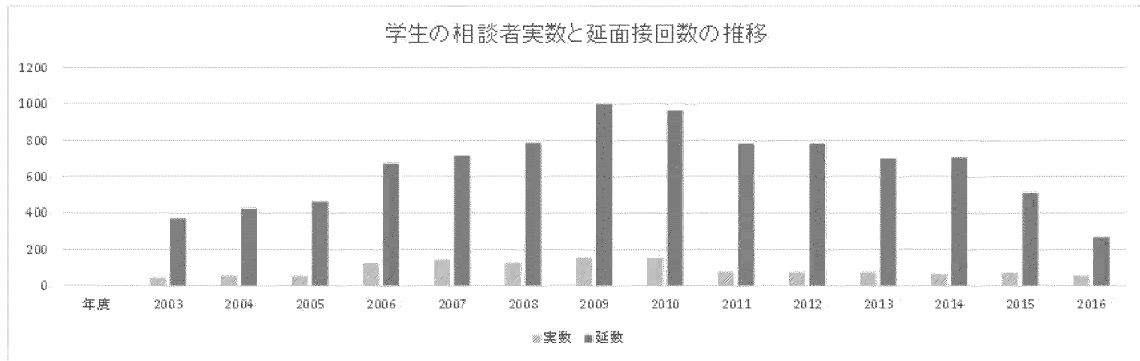
保健管理センター利用者の推移と現状

職員の利用状況を概観すると、平成27年度に比して静養室の利用頻度は増加したが、血圧測定などの施設利用頻度は低下した。一方、健康相談においては内科医診察が大幅に増加したものの看護師相談数と精神面の相談数（本年度はカウンセリングと精神科相談を合わせて表記）は低下した。

精神科的相談の推移

学生総合相談室が機能し始めた平成23年度より保健管理センターの利用者数は漸減する傾向にあり、本年度もさらに減少した（図1）。背景として、本年度はカウンセラーから精神科医に変わり、学生対応への多様化、つまり組織の機能分化を目指したことがあげられる。具体的には、“精神的健康”は主に保健管理センターが、また“生活・修学上の困りごと”は学生総合相談室が主体的に対応し、その双方を抱える学生はチームでの対応を図った。結果、保健管理センターと学生総合相談室を合わせた相談件数は平成27年度と大きな違いは見られなかった。その内訳としては、保健管理センターでの相談数は平成27年度の73名（延べ515回）から57名（延べ269回）と減少したのに対し、学生総合相談室の相談数は226名（延べ1,037回）から245名（延べ1,753回）と増加している。また両親や教員からのコンサルテーションにおいても同様の傾向がみられた。この現状から、学生総合相談室の業務が平成27年度に比して大きくなっている現状が窺える。一方、精神的な問題を抱えた学生については、保健管理センターと学生総合相談室による多面的な支援を要するケースが多くみられた。対応の難しいケースでは、定期的な支援カンファレンスを開くなどして適切な支援を講じ、円滑な修学に繋がったケースも多く、組織の機能分化が進んでいるものと考えられた。

<図1> 学生の相談者実数と延面接件数の推移



学部別精神科的相談者数

保健管理センターの学部別相談件数および保健管理センターと学生総合相談室を合わせた学部別相談者数の経年的推移を表1の(A)(B)にそれぞれ示す。保健管理センターの学部別相談延数では工学部が多く、次いで工学研究科となっていた。学生総合相談室を合わせた学部別相談延数でも同様の傾向がみられ、工学部で最も多く、次いで工学研究科であった。割合においては、保健管理センターでは教育学部と教育学地域科学部が、学生総合相談室では工学部と工学研究科が高くなっている。

<表1(A)> 平成28年度 心理相談の実数および延面接回数

区分	実数(人)	延面接回数(回)
教育地域科学部	11	52
教育学部	4	18
教育学研究科	0	0
工学部	32	129
工学研究科	9	66
国際地域学部	1	4
学生計	57	269

〈表 1 (B)〉 学部別心理相談延数の推移

	教育地域科学部	教育学部	工学部	国際地域科学部	教育学研究科	工学研究科	コンサルテーション	その他	合計
2001	52		78		0	23	14	0	167
2002	90		96		72	46	26	0	270
2003	100		176		63	34	99	0	472
2004	35		225		37	130	184	28	639
2005	119		175		21	150	160	35	660
2006	132		320		23	135	124	55	789
2007	214		391		16	55	166	90	932
2008	159		443		7	109	265	145	1,128
2009	189		450		0	149	237	176	1,201
2010	225		598		3	178	268	154	1,426
2011	243		514		17	192	315	132	1,413
2012	317		1213		26	351	524	173	2,604
2013	308		1113		71	305	560	29	2,386
2014	378		1050		58	317	527	44	2,374
2015	254		836		43	321	411	98	1,963
2016	134	47	831	13	12	352	531	102	2,022

※ 2012 年度からは学生総合相談室との合計数を記載

精神科的相談内容の内訳

表 2 に学生の相談内容の内訳を示す。学生総合相談室の相談実数としては、学業・休退学に関する相談に次いで発達障害に関わる相談が多くを占めたのに対し、保健管理センターでは精神面での相談、次いで発達障害に関わる問題が多かった。これは先にも示したように、それぞれの組織が機能分化していることに由来していると考えられる。一方、相談延数については実数とは傾向が異なり、学生総合相談室では発達障害、保健管理センターでは精神と、実数では多く見られた学業・休退学や対人関係に比べて大きな割合を占めた。これは発達障害や精神の問題は、学業・休退学に関する相談に比べて問題の解決が困難であり、長期的なフォローを要することを反映したものと考えられる。

また、学生の保護者や関係する教職員などへの相談を行うコンサルテーションも、学生総合相談室のみで年間 500 件を超えて実施しており、学生支援において大変重要な役割を果たしている。

〈表2〉 平成28年度 相談内容の分類 (学生のみ)

区 分		修 学			適 応				発 達	健 康		教 育		合 計	コン サ ル テ ー シ ョ ン	総 計	
		学 業 ・ 休 退 学	ハ ラ ス メ ン ト	進 路 ・ 職 業	性 格 ・ 人 生 観	対 人 関 係	性 ・ 恋 愛	家 庭 問 題	適 応	自 閉 症 ス ペ ク ト ラ ム	身 体	精 神	ス ト リ ー バ イ ス				健 診 呼 出 ・ そ の 他
保健管理センター	実数(人)	6	0	1	0	6	0	0	0	13	5	25	0	1	57	8	65
	延数(回)	35	0	12	0	25	0	0	0	85	7	103	0	2	269	12	281
相談室	実数(人)	83	0	28	0	35	0	5	0	36	1	9	0	42	245	230	475
	延数(回)	257	0	121	0	167	0	8	0	442	2	159	0	68	1222	519	1741
総計	実数(人)	95	0	29	0	41	0	5	0	49	6	34	0	43	302	238	540
	延数(回)	292	0	133	0	192	0	8	0	527	9	262	0	68	1491	531	2022

福井大学文京キャンパス学生自殺者の推移

本年度の自殺者数は0名であった(表3)。実際には軽度の自殺企図を認めた学生も存在したが、保健管理センターと学生総合相談室、および地域の精神科医療機関との連携にて既遂に至った例はなかった。今後も積極的な介入による自殺予防に努めなければならない。

〈表3〉 福井大学文京キャンパス学生自殺者の推移

年 度	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16
人 数	0	0	0	0	1	0	0	6	3	2	1	0	1	0

問題点と今後の課題

青年期は様々な社会的役割実験を通じてアイデンティティーの確立を目指す、充実感に溢れたライフステージである。多くの大学生が修学、人間関係、恋愛などの試練に挑み、大きな成長を遂げる。しかし、青年期はこころが大きく乱れる時期であり、精神的変調を来しやすい、極めて脆弱な時期でもある。残念なことに、この時期は精神疾患の発症率が最も高く、健全な成長が精神疾患の発症によって大きく阻害されることが少なくない。従って、こころの乱れをつぶさに捉え、それを理解し、適切な対応を講じることは、健全な学生生活を送る上で重要な課題となる。残念ながら大学生との面談を通じて感じることは、こころの健康に関する関心と知識の乏しさである。問題を抱える多くの学生は、自身が直面している問題の背景に精神的変調や人格特性が関与していることに気づかず、悩み苦しんでいる。

保健管理センターの役割の一つが、学生自身の精神的変調や人格特性への気づきの向上にある。この気づきは生涯を通して生きる上での大きな武器となる。本年度は新入学生全員を対象に入門セミナーの中で「青年期における

心の健康」のレクチャーを行ったが、今後も様々な形での啓蒙活動が必要である。また学生の精神的変調を積極的に捉えて介入する試みも重要である。保健管理センターで定期健康診断に基づくメンタルヘルス呼出しを、学生総合相談室では前後期履修登録時アンケートに基づく呼出しを行い、問題を抱えた学生に対する早期介入を試みている。実際に多くの学生の精神的変調を捉え、医療に繋いだ例も少なくない。しかし精神的変調は動揺性を有し、断片的なアンケートによるフォローのみでは通年を通した支援が難しいのが現状であり、今後の大きな課題である。最後に、身体・精神障害学生の修学支援体制の整備があげられる。

イ. 松岡キャンパス

松岡地区保健センターの2016年度の心理相談について報告する。

例年通り、以下に1) 利用者数・相談回数、2) 相談内容、3) 今後の課題と展望の順に心理相談を概括する。

1) 利用者数・相談回数

表1 2016年度 心理相談の実数及び延べ相談回数

区 分		実数【人】			延相談回数【回】		
		女	男	計	女	男	計
学生	1年	10	6	16	31(2)	8(2)	39(4)
	2年	5	2	7	163(74)	14(5)	177(79)
	3年	2	0	2	2	0	2
	4年	5	0	5	1(4)	0	14(4)
	5年	2	2	4	3(1)	43(2)	46(3)
	6年	5	0	5	30	0	30
	院生	4	0	4	122(88)	0	122(88)
	学生計	33	10	43	316(169)	65(9)	430(178)
コンサル テーション	教職員	17	12	29	40(17)	32(10)	72(27)
	家族・ 主治医	6	1	7	43(36)	1(1)	44(37)
教職員		8	8	16	98(31)	36(17)	134(48)
その他(卒業生等)		2	3	5	4(3)	5(2)	9(5)
学生以外計		33	24	52	183(87)	73(30)	256(117)
総 計		66	34	95	547(256)	138(39)	686(295)

※ () 内は相談件数のうち、電話及びメールの相談件数。

表1は、保健センター相談室の利用者の実数および延べ相談回数を表したものである。

・相談件数：相談件数は昨年度に比べて増加した。その理由として、昨年度の前期はカウンセラーが週3日勤務となり開室時間に制限があったことや後期からカウンセラーが交代したことにより、昨年度は例年に比べ相談件数が少なかったということがある。今年度は、前期後期とも通常の開室時間で対応したこともあり、昨年度より相談件数は増加した。通常の開室時間で対応していた一昨年度と比較すると、それでも今年度は相談件数が多く、一昨年

度の約 1.5 倍であった。

・学生利用者の実態について：学生の来談実数は 43 名であり、昨年度の 35 名からやや増加した。性別では、女性が 33 名、男性が 10 名であり、男女比は昨年度とほぼ同様であった。来談実数 43 名のうち医学科は 25 名に対し、看護学科は 18 名で医学科の学生の方が多い。また延べ相談回数でも医学科が 257 回、看護学科が 173 回で医学科の学生の方が多い。これらは例年と同様であった。

・学生利用者の転帰について：学生の来談実数は 43 名であるが、H28 年度 3 月末時点での転帰は、終結 29 名、中断 5 名、継続 8 名、その他 1 名となっている。

・昨年度との変化：昨年度に比べ、教職員のコンサルテーションの延べ回数が 56 回から 72 回（そのうち電話・メール相談 27 回）に増加している。実数では今年度は 29 名、昨年度は 15 名であった。1 つのケースで複数の教職員にコンサルテーションが行われることが多かった。

2) 相談内容（学生）

表 2 2016 年度 相談内容分類(学生のみ)

区分	修学			適応					発達	健康		教育		計
	学業・休退学	ハラスメント	進路・(職業)	性格・人生観	対人関係	性・恋愛	家庭問題	適応	自閉症スペクトラム等	身体	精神	入学時検査	問診票呼出し	
実数【人】	8	4	0	3	2	0	1	0	0	0	6	15	4	43
延数【回】	150	122	0	44	46	0	1	0	0	0	46	17	4	430

相談内容の分類は従来通り、来談当初の主訴に基づいている。

・相談内容の実数の分布：昨年度と比べ、「ハラスメント」、「学業・休退学」が増加した。「精神」、「性格・人生観」は例年通りである。「進路・(職業)」、「適応」は減少した。

・昨年度との変化：昨年度に比べ、延べ回数が大幅に増加したのは、「学業・休退学」、「ハラスメント」である。「学業・休退学」は成績不振による進級の危うさ、実習の困難さを訴える学生の他、進級できずに進路変更を検討せざるを得なくなった学生、不本意入学のため再受験を希望する学生等が含まれている。また、「ハラスメント」の相談実数・延べ数は共に昨年度より大幅に増加した。一昨年度の年報で、学業環境改善の方向での行動が必要では

ないかと指摘されていたが、当時問題が抜本的な解決に至らなかったため、今年度になって再燃したようにみえる。

・その他：どの相談内容でも継続的にカウンセリングを希望する学生が増えてきた印象である。話すことで問題を整理し、自分なりの考えをまとめようとカウンセリングを利用していた。

3) 今後の課題と展望

・電話・メールの相談

昨年度の課題を踏まえ対処した結果もあり、今年度は相談件数が増加した。また、昨年度までの統計では、電話・メールによる相談は区別せず相談件数に入れてカウントしていたが、今年度から直接来談する面談と区別するために、電話・メールによる相談件数を明示することにした。今年度は特に不登校の学生や来談できない学生、そして保護者などから、電話・メールによる相談が非常に多かった。電話による相談は1回当たり1時間を越すことは珍しくなく、メールも長文かつ頻回のやりとりをするケースも少なくなかった。本来、電話やメールは、カウンセリングの申し込みや予約のためという扱いである。電話やメールによる相談ややりとりは、カウンセラーとしては極力控えたいところである。相手の様子がかめない上、相互に誤解を招いたり、ともすればカウンセラーの言葉が独り歩きしかねない。やはり、直接顔を合わせて話を聞き、問題について一緒に考えていきたいというのが本音である。しかし、不登校の学生は、そもそも登校できないので来談することができず、電話やメールに頼らざるを得ないという現実がある。遠方にいる保護者は、来談するよりも電話やメールによる相談になってしまうのは仕方がないのかもしれない。様々な事情や理由があるにしても、電話・メールの相談に安易に押し流されずに、来談へ誘うことはこれまでどおり続けたいと考えている一方、ケースに応じて臨機応変に対応することの柔軟さも併せ持ちたいと思う。

・相談延べ数の増加

今年度の相談件数は、相談内容に限らず、実数の割に延べ数が多かった。先述したように、カウンセリングを自分の問題と向き合い考える場として学生が利用していることの表れといえる。もちろん、広く浅く多くの学生が気軽に相談に来られるようになることもカウンセリングの利用の仕方として大切なことではあるが、それぞれの学生が自分の成長に合った形で問題の洞察、問題への対処を検討し続けることは、またもう一つの大切なカウンセリングの利用方法である。そのようにカウンセリングを利用してもらえることは、カウンセラー冥利に尽きる。

一方で、実数の割に延べ数が多かった「ハラスメント」については、少し状況が異なる。なかなか問題解決や改善に至らず何度もカウンセラーとやりとりしたり、早期解決に至らないことにより心理・精神面での継続的なフォローが必要となったことで、延べ数が跳ね上がった。今年度、教職員のコンサルテーションの実数・延べ数が増加した主な要因は、この「ハラスメント」関連によるものである。ハラスメントの問題は、特定の誰か・何かが原因となることもあるが、

複数の相談が以前からある場合、ハラスメントが黙認されている土壌や文化が横たわっている可能性がある。ハラスメント問題への対応としては根本的に、ハラスメントする側・される側の個人の問題とする前に、大学として、学部として、学科として、学業環境改善を進める行動を起こすことが何よりも必要ではないかと考える。それは、ひいては学生のみならず、教職員の労働環境改善にもつながるだろう。今年度は一昨年度に比べ、ハラスメントを確かな“問題”として提起することになったのだが、学部・学科がハラスメント問題と真剣に向き合い解決する行動を起こさなければならないと感じさせるひとつの契機になればと願う。

・連携

昨年度に引き続き、全学的な学生支援体制の観点から進めていた文京キャンパスの保健管理センターや学生総合相談室との連携は、よりいっそう深めることができたと感じている。月1回のケース報告会で情報共有を行ったり、ケース対応について様々な視点からコメントやアドバイスをいただくことで、支援のヒントが見つかったり、的確な情報提供がそのまま学生の進路選択で役立つこともあった。文京キャンパスと松岡キャンパスでは、キャンパス内の仕組みの違いや学生の持ち込む問題の特徴の違いはあるが、学生支援を行っている“同志”の新たな視点からのコメントやアドバイスはとても新鮮に感じられ、“支えてもらっている感”がある。また、カウンセラーにとって、ケース報告会で報告・相談することは、ケースから少し距離を置いて客観的に見ることができる時間でもあった。そのような意味でも貴重な機会であると感じる。

一方、松岡キャンパスの学生総合相談室とは、常時、情報の共有や相談ができる関係がある。保健センターの看護師とも密に情報を共有し、例えばスムーズな学校医受診の手配とそれにまつわる学生への対応の他、カウンセラー不在時の対応をフォローしていただいている。このような学生支援に携わるスタッフで月1回のケース報告会はあるが、それを待たずにその時々によりとりし、スタッフ一丸となって学生支援にあたれるところがとても心強い。

今後も引き続き円滑に連携し、協働する関係を維持していきたい。

(文責 栗田智未)

医学生における気質の変化 -University Personality Inventory (UPI) の推移による検討-

○岡崎玲子¹⁾, 高橋哲也²⁾, 栗田智未²⁾, 前川 伸晃³⁾, 和田有司¹⁾
 1) 福井大学医学部病態制御医学講座精神医学領域, 2) 福井大学保健管理センター
 3) 福井大学松岡キャンパス学生総合相談室

目的

昨今の学生相談では、不登校や留年、発達障害やうつ病、摂食障害などの精神疾患、さらには自殺などが大きな問題となっている。その背景には、時代によって多様化する価値観や生活スタイルの変化が大きく影響していると考えられる。従って、充実した学生支援体制を整備するためには、時代に応じた学生気質の変化を的確に捉えることが不可欠である。本学保健管理センターでは1980年の開学以来、新入生を対象にしてUPIを実施している。本研究ではこれまでに蓄積されたUPIデータを用い、医学生の精神的健康の側面から年代による変遷を明らかにする。

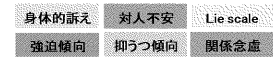
方法

対象：1980年代群：1980～1989年度入学 1014人(男795人、女219人)
 2000年代群：2005～2015年度入学 1050人(男653人、女397人)

University Personality Inventory (表1)：

- 大学生の心理的な悩みを調査するために開発された心理テスト
- 自己記入式(60項目、応答は2件法)

領域：症状領域別に6領域に区分



統計：領域別に単純集計し、Mann-Whitney検定を用いて各領域における項目数を群間比較(有意水準 5%以下)

表1 University Personality Inventory (UPI) 全国大学保健管理協会

1 憂鬱がない	18 不眠がちな	31 非常に恐る	44 体が軽い
2 気楽な気分や楽観がある	19 頭痛がある	32 どしゃぶり、雨がふるえたりする	45 眠るに気がしやすい
3 わけなく涙が下りやすい	20 腹痛がある	33 体がぼんやり、ぼんやりする	46 のまやろちんがみがる
4 動悸が頻りになる	21 胸が膨らみ、しめつけられる	34 静寂や静寂のことが気になる	47 寒さ、暑さ、ひきつけられる
5 いろいろな体の調子がない	22 気分が落ち込む	35 気分が晴れない	48 よく寝て目覚める
6 集中力が落ちる	23 気分が不安定	36 気分が落ち込む	49 このがゆるい
7 気分が落ち込む	24 気分が落ち込む	37 気分が落ち込む	50 気分が落ち込む
8 気分が落ち込む	25 気分が落ち込む	38 気分が落ち込む	51 気分が落ち込む
9 気分が落ち込む	26 気分が落ち込む	39 気分が落ち込む	52 気分が落ち込む
10 気分が落ち込む	27 気分が落ち込む	40 気分が落ち込む	53 気分が落ち込む
11 気分が落ち込む	28 気分が落ち込む	41 気分が落ち込む	54 気分が落ち込む
12 気分が落ち込む	29 気分が落ち込む	42 気分が落ち込む	55 気分が落ち込む
13 気分が落ち込む	30 気分が落ち込む	43 気分が落ち込む	56 気分が落ち込む
14 気分が落ち込む	31 気分が落ち込む	44 気分が落ち込む	57 気分が落ち込む
15 気分が落ち込む	32 気分が落ち込む	45 気分が落ち込む	58 気分が落ち込む
16 気分が落ち込む	33 気分が落ち込む	46 気分が落ち込む	59 気分が落ち込む
17 気分が落ち込む	34 気分が落ち込む	47 気分が落ち込む	60 気分が落ち込む

結果

図1. 入学生男女比の変遷

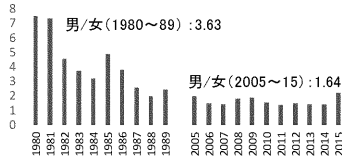


表2-2. 時代間の領域別変化(男子学生)

	1980～1989年度		2005～2015年度		有意確率
	平均	標準偏差	平均	標準偏差	
総得点	10.66	7.2	9.37	7.8	<0.001*
身体的訴え	2.00	2.2	1.67	1.9	0.011*
抑うつ傾向	3.07	3.1	3.20	3.4	0.974
対人不安	2.03	2.0	1.82	2.1	0.004*
強迫傾向	0.86	1.1	0.80	1.1	0.074
関係念慮	0.53	0.9	0.68	1.1	0.298
Lie Scale	2.18	1.4	1.14	1.2	<0.001*

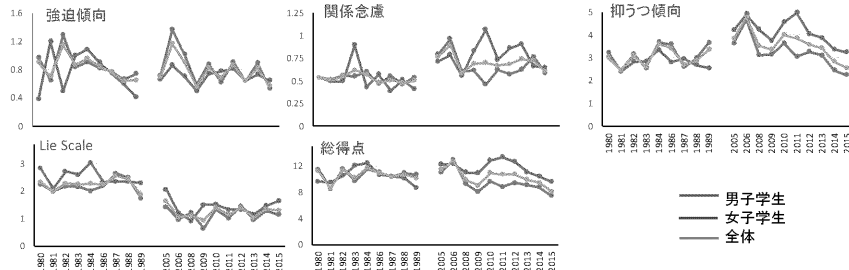
表2-1. 時代間の領域別変化(全学生)

	1980～1989年度		2005～2015年度		有意確率
	平均	標準偏差	平均	標準偏差	
総得点	10.72	7.2	10.27	8.3	<0.001*
身体的訴え	2.02	2.1	1.94	2.2	0.115
抑うつ傾向	3.08	3.2	3.55	3.6	0.023*
対人不安	1.97	1.9	2.00	2.2	0.191
強迫傾向	0.84	1.1	0.77	1.1	0.011*
関係念慮	0.54	0.9	0.71	1.1	0.011*
Lie Scale	2.26	1.4	1.24	1.2	<0.001*

表2-3. 時代間の領域別変化(女子学生)

	1980～1989年度		2005～2015年度		有意確率
	平均	標準偏差	平均	標準偏差	
総得点	10.49	6.6	11.73	8.9	0.72
身体的訴え	2.11	1.9	2.37	2.5	0.788
抑うつ傾向	2.85	3.1	4.13	3.9	<0.001*
対人不安	1.79	1.8	2.29	2.4	0.089
強迫傾向	0.73	1.0	0.71	1.1	0.518
関係念慮	0.52	0.8	0.79	1.1	0.016*
Lie Scale	2.50	1.4	1.40	1.2	<0.001*

図2. 領域別UPI得点の変遷



- 総得点はすべての年において基準値(17.9)以下であった。
- 2005年以降入学群は1980年代入学群に比べて抑うつ傾向、関係念慮が上昇し、この変化は女子学生において顕著であった。
- 一方、強迫傾向とLie Scaleは低下し、Lie Scaleの変化が最も大きかった。
- 2011年以降において、総得点および抑うつ傾向は経年的に低下傾向を示した。

結果のまとめと考察

- 1980年代および2000年代入学生とも総得点は全国の学生¹⁾より低く、当大学における医学生の精神的健康度は良好であった。一方、国外では医学生の精神的負担や健康障害が多く報告されており^{2,3)}、日本人における、「和」を保つために「本音」より「建て前」を意識する気質傾向^{4,5)}を反映している可能性が伺われる。
- 1980年から2015年にかけて経済情勢は急変し、雇用問題が大きな社会問題となった。また職業選択においては生活の安定化を図り、国家資格取得を目指す学生が増加しているのが現状である。医学生においては、他の学部生に比して卒業後のアイデンティティが安定していることが、精神的健康度の高さに繋がったと思われる。
- 時代間においては、1980年代入学生と比べて2000年代入学生は、抑うつ傾向や関係念慮が特に女子学生において上昇しており、女子入学生の割合増加に伴い女子医学生の気質が変化したと考えられる。
- Lie Scaleの低下は学生気質動向に関する報告、「不安を感じやすく、自信が持てない」⁶⁾「元気がない学生」⁷⁾、などと一致している。
- 2010年以降の入学生は2000年代のゆとり教育を受けており、経年的健康度の上昇はゆとり教育の影響かもしれない。

結論 時代とともに変化する学生気質を適切に捉え、その状況に応じた支援を充実させることは、学生の精神保健を推進する上で重要な課題であると考えられる。

参考文献

- 1) 平山直子UPI利用の手引き 2011.
- 2) Guthrie et al., Psychological stress and burnout in medical students: a five-year prospective longitudinal study. Journal of the Royal Society of Medicine 1998, 91(5):237.
- 3) Dyrbye et al., Systematic review of depression, anxiety and other indicators of psychologic distress among U.S. and Canadian medical students. Acad Med 2006, 81(4):354-373.
- 4) Hayashi Shinichi, Culture of harmony and culture of distinction: another look on the new Japan. Journal of cross-cultural studies 2009, 3:88-104.
- 5) 許恵忠「日本文化」と「中国文化」のイメージ比較研究 - 日本人のマインドマップ調査による検討. 山口国文 2009, 32:136-150.
- 6) 福原俊太郎ら横浜市立大学における学生のメンタルヘルスに関する研究(2)-UPIの比較による最近10年間の大学生の変化-. 日本社会精神医学会雑誌 2007, 16(2):204-204.
- 7) 森本芳則らUPIにみる大学生の精神健康状態と最近の傾向. 新潟医学会雑誌 1999, 113(2):127-127.

Enhanced Brain Signal Variability in Children with Autism Spectrum Disorder During Early Childhood

Tetsuya Takahashi,^{1*} Yuko Yoshimura,¹ Hirotoshi Hiraishi,¹
Chiaki Hasegawa,¹ Toshio Munesue,^{1,2} Haruhiro Higashida,¹
Yoshio Minabe,^{1,2} and Mitsuru Kikuchi^{1,2}

¹Research Center for Child Mental Development, Kanazawa University, Japan

²Department of Psychiatry and Neurobiology, Graduate School of Medical Science, Kanazawa University, Kanazawa, Japan

Abstract: Extensive evidence shows that a core neurobiological mechanism of autism spectrum disorder (ASD) involves aberrant neural connectivity. Recent advances in the investigation of brain signal variability have yielded important information about neural network mechanisms. That information has been applied fruitfully to the assessment of aging and mental disorders. Multiscale entropy (MSE) analysis can characterize the complexity inherent in brain signal dynamics over multiple temporal scales in the dynamics of neural networks. For this investigation, we sought to characterize the magnetoencephalography (MEG) signal variability during free watching of videos without sound using MSE in 43 children with ASD and 72 typically developing controls (TD), emphasizing early childhood to older childhood: a critical period of neural network maturation. Results revealed an age-related increase of brain signal variability in a specific timescale in TD children, whereas atypical age-related alteration was observed in the ASD group. Additionally, enhanced brain signal variability was observed in children with ASD, and was confirmed particularly for younger children. In the ASD group, symptom severity was associated region-specifically and timescale-specifically with reduced brain signal variability. These results agree well with a recently reported theory of increased brain signal variability during development and aberrant neural connectivity in ASD, especially during early childhood. Results of this study suggest that MSE analytic method might serve as a useful approach for characterizing neurophysiological mechanisms of typical-developing and its alterations in ASD through the detection of MEG signal variability at multiple timescales. *Hum Brain Mapp* 37:1038–1050, 2016. © 2015 The Authors Human Brain Mapping Published by Wiley Periodicals, Inc.

Key words: autism spectrum disorder; magnetoencephalography; signal variability; multiscale entropy; typical-development; early childhood

・浦崎教授

シンポジウム

【講演 1】 本院における自己血患者選択の実際

自己血輸血 29 巻 2 号 Page224(2016.12)

本院における自己血患者選択の実際

浦崎 芳正 自己血輸血 29 巻 2 号 Page224(2016.12)

第 70 回日本自己血輸血学会教育セミナー 更なる適正な自己血輸血の実施と
自己血輸血医師看護師制度の拡充に向けて平成 28 年 2 月福井市

学会発表、一般演題

t-MDS/t-AML の臨床的特徴 1 施設における 18 例の経験(The clinical
characteristics of t-MDS/t-AML: 18 cases of single institution experience)

Yamamoto Yuya(Division of Hematology and Oncology, University of Fukui),
Hosono Naoko, Tsukasaki Hikaru, Oiwa Kana, Ito Kazuhiro, Ookura Miyuki,
Tasaki Toshiki, Matsuda Yasufumi, Tai Katsunori, Sakamaki Ippei, Ikegaya
Satoshi, Kishi Shinji, Urasaki Yoshimasa, Yoshida Akira, Ueda Takanori,
Yamauchi Takahiro

臨床血液 57 巻 9 号 Page1486(2016.09)

第 78 回日本血液学会総会 2016 年 10 月 横浜市

血液悪性腫瘍患者における PBSC 動員不良の予測(Prediction for poor
mobilization of PBSC in patients with hematological malignancy)(英語)

Oiwa Kana(Division of Hematology and Oncology, University of Fukui), Kishi
Shinji, Matsumoto Rena, Tsukasaki Hikaru, Yamamoto Yuya, Ito Kazuhiro,
Ookura Miyuki, Tasaki Toshiki, Morita Mihoko, Matsuda Yasufumi, Tai
Katsunori, Hosono Naoko, Ikegaya Satoshi, Sakamaki Ippei, Urasaki
Yoshimasa, Yoshida Akira, Iwasaki Hiromichi, Ueda Takanori, Yamauchi
Takahiro

臨床血液 57 巻 9 号 Page1460(2016.09)

第 78 回日本血液学会総会 2016 年 10 月 横浜市

末梢血中 WT1 mRNA の減少と azacitidine の有効性との密接な関連(Close
association between reduction of the peripheral WT1 mRNA and the efficacy
of azacitidine)(英語)

Hosono Naoko(Department of Cancer Care Promotion Center, University of Fukui), Tsukasaki Hikaru, Yamamoto Yuya, Oiwa Kana, Ito Kazuhiro, Ookura Miyuki, Tasaki Toshiki, Matsuda Yasufumi, Tai Katsunori, Sakamaki Ippei, Ikegaya Satoshi, Kishi Shinji, Urasaki Yoshimasa, Ueda Takanori, Yamauchi Takahiro

臨床血液 57 巻 9 号 Page1443(2016.09)

第 78 回日本血液学会総会 2016 年 10 月 横浜市

血液疾患患者の細菌感染早期検出における presepsin の診断的重要性 (Diagnostic value of presepsin for early detection of bacterial infection in hematological diseases)(英語)

Tsukasaki Hikaru(Hematology and Oncology, University of Fukui), Ito Kazuhiro, Tai Katsunori, Yamamoto Yuya, Oiwa Kana, Matsuda Yasufumi, Hosono Naoko, Ikegaya Satoshi, Sakamaki Ippei, Kishi Shinji, Urasaki Yoshimasa, Iwasaki Hiromichi, Yamauchi Takahiro

臨床血液 57 巻 9 号 Page1434(2016.09)

第 78 回日本血液学会総会 2016 年 10 月 横浜市

治療経過中に M 蛋白および形質細胞の増加を認めた高齢 MALT リンパ腫の 1 例

松岡 紗恵(福井大学医学部附属病院 臨床教育研修センター), 伊藤 和広, 酒巻 一平, 多崎 俊樹, 田居 克規, 細野 奈穂子, 浦崎 芳正, 岸 慎治, 上田 孝典, 山内 高弘

日本老年医学会雑誌 53 巻 4 号 Page452(2016.10) 第 27 回日本老年医学会北陸地方会 金沢市

不規則抗体検査酵素法の検討 フィシン 2 段法のみ陽性抗 E 保有患者の輸血後追跡検査から

海老田 ゆみえ(福井大学医学部附属病院 輸血部), 浦崎 芳正, 小林 洋子, 田中 佐知子, 増永 志穂, 岸 慎治, 岩崎 博道

日本輸血細胞治療学会誌 62 巻 2 号 Page362(2016.04) 第 64 回 日本輸血・細胞治療学会 総会 2016 年 4 月 京都市

高度の寒冷凝集素症を合併した非 Hodgkin リンパ腫

大岩 加奈(福井大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科), 岸 慎治, 大藏 美幸, 松田 安史, 浦崎 芳正, 山内 高弘

座長

一般演題(口演) 適正使用-2

日本輸血細胞治療学会誌 62 巻 2 号 Page123 第 64 回 日本輸血・細胞治療学
会 総会 2016 年 4 月 京都市

・高橋准教授

論文 (原著)

1. Hasegawa C, Ikeda T, Yoshimura Y, Hiraishi H, Takahashi T, Furutani N, Hayashi N, Minabe Y, Hirata M, Asada M, Kikuchi M. Mu rhythm suppression reflects mother-child face-to-face interactions: a pilot study with simultaneous MEG recording. *Sci Rep*. 2016;6:34977. doi: 10.1038/srep34977.
2. Goto T, Ishitobi M, Takahashi T, Higashima M, Wada Y. Reversible splenial lesion related to acute lithium intoxication in a bipolar patient: a case report. *J Clin Psychopharmacol*. 2016;36:528-9.
3. Takesaki N, Kikuchi M, Yoshimura Y, Hiraishi H, Hasegawa C, Kaneda R, Nakatani H, Takahashi T, Mottron L, Minabe Y. Takesaki N, Kikuchi M, Yoshimura Y, Hiraishi H, Hasegawa C, Kaneda R, Nakatani H, Takahashi T, Mottron L, Minabe Y. The contribution of increased gamma band connectivity to visual non-verbal reasoning in autistic children: a MEG study. *PLoS One*. 2016 Sep 15;11(9):e0163133. doi: 10.1371/journal.pone.0163133.
4. Yoshimura Y, Kikuchi M, Hiraishi H, Hasegawa C, Takahashi T, Remijn GB, Oi M, Munesue T, Higashida H, Minabe Y, Kojima H. Atypical development of the central auditory system in young children with Autism spectrum disorder. *Autism Res*. 2016;9:1216-26. doi: 10.1016/j.nicl.2016.07.009.
5. Kurita T, Kikuchi M, Yoshimura Y, Hiraishi H, Hasegawa C, Takahashi T, Hirokawa T, Furutani N, Higashida H, Ikeda T, Mutou K, Asada M, Minabe Y. Atypical bilateral brain synchronization in the early stage of human voice auditory processing in young children with autism. *PLoS One*. 2016;11(4):e0153077. doi: 10.1371/journal.pone.0153077.
6. Yoshimura Y, Kikuchi M, Hiraishi H, Hasegawa C, Takahashi T, Remijn GB, Oi M, Munesue T, Higashida H, Minabe Y. Synchrony of auditory brain responses predicts behavioral ability to keep still in children with autism spectrum disorder: Auditory-

evoked response in children with autism spectrum disorder. Neuroimage Clin. 2016;12:300-305. doi: 10.1371/journal.pone.0153077.

7. Takahashi T, Yoshimura Y, Hiraishi H, Hasegawa C, Munesue T, Higashida H, Minabe Y, Kikuchi M. Enhanced brain signal variability in children with autism spectrum disorder during early childhood. Hum Brain Mapp. 2016;37:1038-1050. doi: 10.1002/hbm.23089.
8. Polizzotto N, Takahashi T, Walker P, Cho R. Wide range multiscale entropy changes through development. Entropy. 2016;18:12.

研究助成金

科学研究費補助金基盤研究 (C) (一般)

神経ネットワーク障害仮設に着目した自閉性障害におけるオキシトシン作用機序の解明

(研究代表者 高橋哲也)

科学研究費補助金基盤研究 (C) (一般)

デフォルトモードネットワークにおける BMI の応用に向けた脳波特性の研究

(研究分担者 高橋哲也)

科学研究費補助金基盤研究 (C) (一般)

精神疾患と創造性：神経ネットワーク理論に基づく神経基盤の解明

(研究分担者 高橋哲也)

科学研究費補助金基盤研究 (C) (一般)

一般医学的評価に基づく自閉症児のきょうだい支援システムの構築

(研究分担者 高橋哲也)

科学研究費補助金基盤研究 (C) (一般)

一般神経ネットワークに着目した電気けいれん療法の作用機序の解明・脳波の非線形解析

(研究分担者 高橋哲也)

科学研究費補助金特別推進研究

神経ダイナミクスから社会的相互作用に至る過程の理解と構築による構成的発達科学

(研究分担者 高橋哲也)

センター・オブ・イノベーション (COI) プログラム

COI 拠点「人間力活性化によるスーパー日本人の育成拠点」

(研究分担者 高橋哲也)

